

Arcserve®

Unified Data Protection v6

プラン作成ガイド

～ 仮想環境をエージェントレスで  
バックアップするプランの作成 ～

2016年 5月

REV: 1.1

# 目次

はじめに .....	1
<b>1. 事前確認.....</b>	<b>2</b>
<b>2. 運用開始のための設定 .....</b>	<b>3</b>
2.1 VMWARE ESXi / vCENTER でのエージェントレスバックアップ .....	3
2.2 VMWARE ESXi / vCENTER でのエージェントレスバックアッププランの作成.....	4
2.3 HYPER-V でのエージェントレスバックアップ .....	12
2.4 HYPER-V でのエージェントレスバックアッププランの作成.....	12
2.5 バックアップの実行 .....	21
<b>3. リストア/リカバリ.....</b>	<b>23</b>
3.1. ファイル/フォルダのリストア（OS 領域はリストアしない） .....	24
3.1.1. ファイル/フォルダの一括選択（複数選択）リストア.....	24
3.1.2. リストアするファイル/フォルダの検索.....	29
3.1.3. エクスプローラからのリストア .....	34
3.2. OS を含めたマシン全体の復旧.....	36
3.2.1. 仮想マシンへの復旧 .....	36
3.2.2. 物理マシンへの復旧 .....	42
<b>4. 製品情報と無償トレーニング情報 .....</b>	<b>43</b>
4.1. 製品情報 .....	43

4.2. トレーニング情報 .....	43
4.2.1. 無償トレーニング .....	43

変更履歴：

- 2016年5月 作成
- 2016年7月 誤記修正及びリストア方法の追記、

注意：この資料は2016年5月現在の製品をもとに記述しています

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

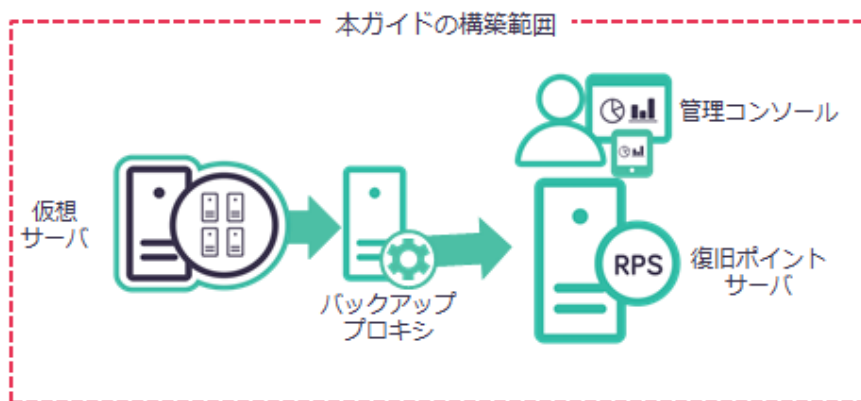


## はじめに

Arcserve® Unified Data Protection v6 (以降 UDP と表記) は、非常に「簡単」かつ「手頃」なディスクベースのシステム保護ソリューションです。単体サーバで構成される小規模なコンピューティング環境にも、複数サーバで構成される大規模なコンピューティング環境のニーズにも必要とされるバックアップ・リカバリ機能を提供します。導入から運用を開始するまで、ほんのわずかな時間と設定で済むだけでなく、一度運用を始めるとほとんど専門知識や手間をかける必要がないため、バックアップ運用管理者の手薄な地方拠点や小規模な部門でも安心してお使いいただくことができます。

本ガイドでは、あらかじめ構築した UDP コンソールと復旧ポイント サーバを用いて、VMware vSphere および Microsoft Hyper-V (以降 Hyper-V) の各仮想環境をエージェントレスでバックアップするまでの手順をステップバイステップで説明します。

### > 本ガイドの構成例



<参考> プランとは

プランとは、1 つまたは複数のデータ保護を行うタスクを集約し、定義したものです。それぞれのタスクで実行スケジュールや通知設定などを設定することができます。また、1 つのプランに複数のタスクを設定することによってタスクの関連性を定義することもできます。

代表的なタスクは以下です。

- ・ Windows や Linux のサーバをエージェント経由でバックアップするタスク
- ・ 仮想マシンをエージェントレスでバックアップするタスク
- ・ バックアップデータを遠隔転送するタスク
- ・ 仮想スタンバイサーバを自動作成するタスク
- ・ 復旧ポイントをコピーするタスク
- ・ ファイルコピーを行うタスク

## 1. 事前確認

バックアップを行うため、保護対象ノードの追加およびバックアッププランの作成を順に説明します。

1.1 で VMware ESXi/vCenter について、1.2 で Hyper-V について説明します。2.1/2.2 と 2.3/2.4 を環境に応じ読み分けてください。

(2.5 は共通の内容です)

### ※ 前提条件

- 別紙『[Arcserve Unified Data Protection v6 環境構築ガイド\(インストールから運用開始まで手順\)](#)』に従い、UDP コンソールと 復旧ポイント サーバを構築し、1 つ以上のデータストアを作成していること
- 別途バックアップ対象となる仮想環境 (VMware ESXi ないしは Hyper-V) が構築され、1 つ以上の仮想マシンが作成されていること
- バックアップ プロキシとして使用するサーバに、UDP Agent for Windows がインストールされていること

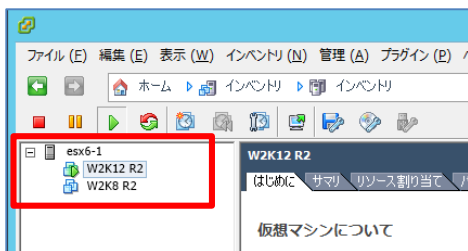
## 2. 運用開始のための設定

UDP インストール後、管理コンソールを起動すると、[環境設定ウィザード] が自動的に起動します。このガイドでは、[環境設定ウィザード] を利用して仮想マシンのエージェントレス バックアップ プランの作成方法を説明します。

### 2.1 VMware ESXi / vCenter でのエージェントレス バックアップ

ここでは、以下の環境でエージェントレス バックアップの設定を行います。

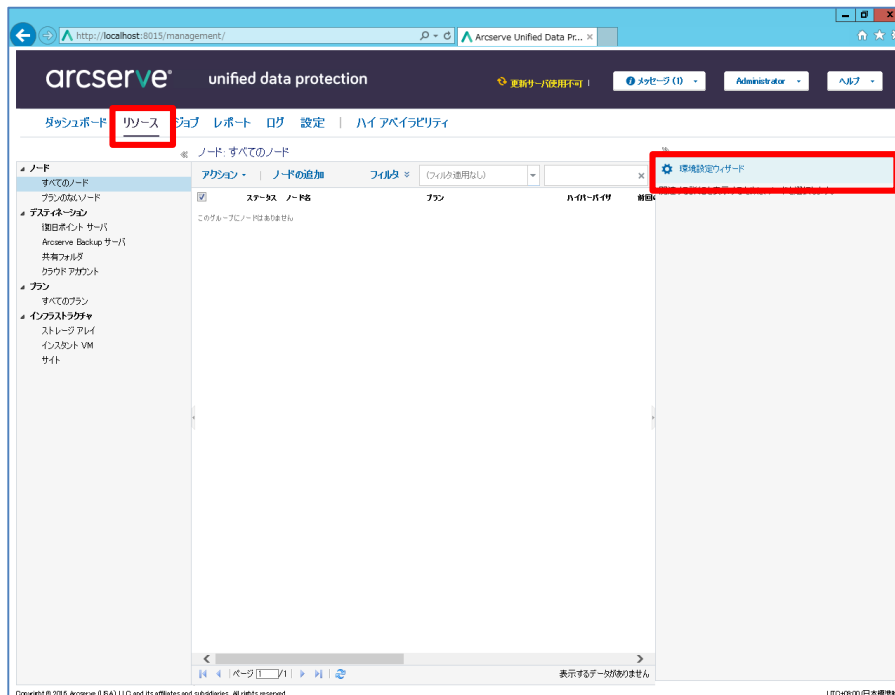
- ・ ESXi 上に 2 台の仮想マシンが登録済み。
- ・ 2 台の仮想マシンのうち、1 台は動作中、1 台は停止中。



## 2.2 VMware ESXi / vCenter でのエージェントレス バックアップ プランの作成

### (1) [Arcserve UDP 環境設定ウィザード]の起動

管理コンソールを起動し、[環境設定ウィザード]を表示します。管理コンソールを起動するのが 2 回目以降の場合、[環境設定ウィザード]は表示されません。再度表示するには、[リソース] タブをクリックし、右ペインで [環境設定ウィザード] をクリックします。



### (2) [Arcserve UDP 環境設定ウィザードへようこそ]

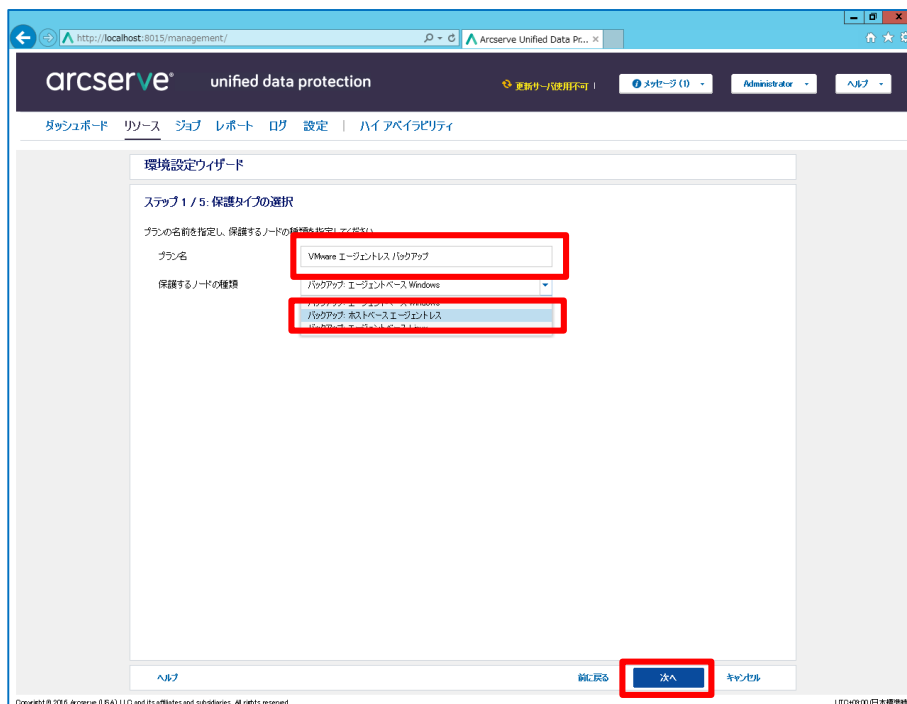
環境設定ウィザードを利用して、バックアップ プランを作成します。[次へ] をクリックします。



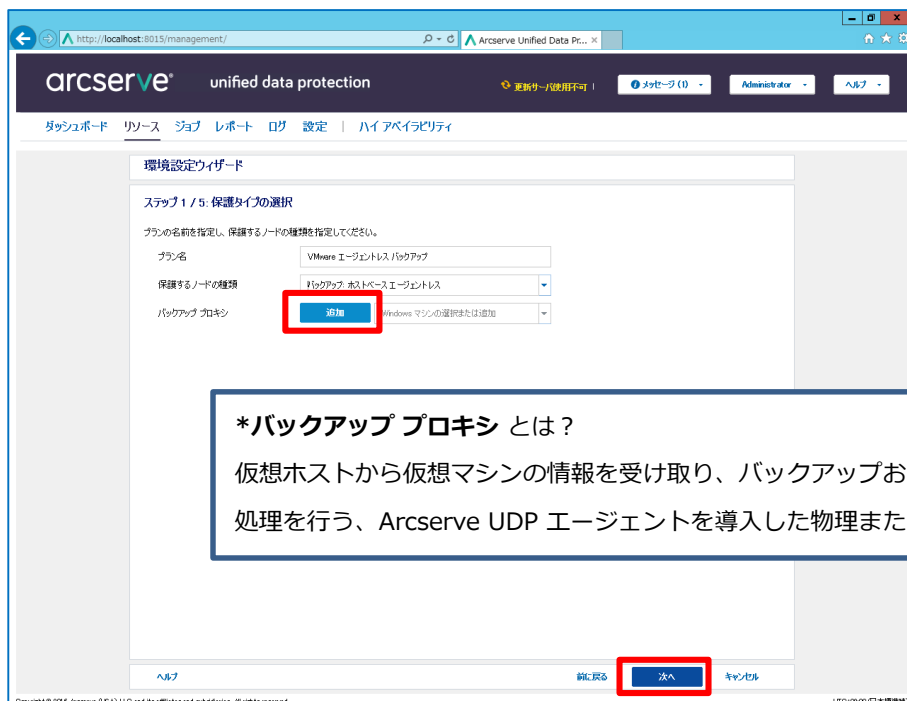


## (3) [ステップ 1/5 :保護タイプの選択]

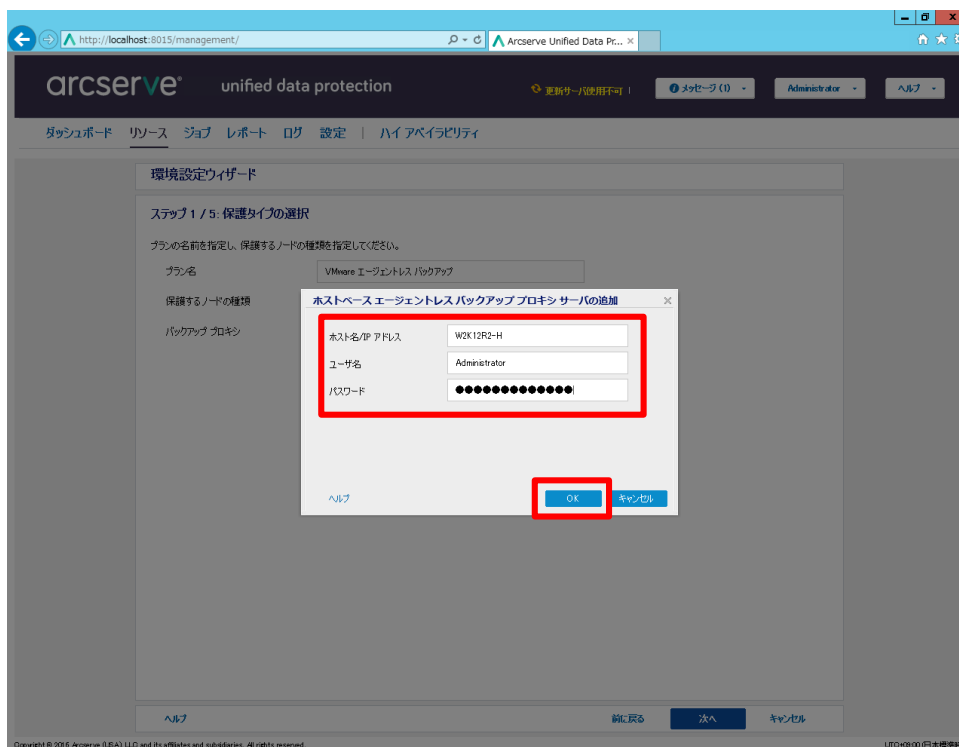
任意の[プラン名] を入力し、[保護するノードの種類] で[バックアップ : ホストベース エージェントレス]を選択し、[次へ] をクリックします。



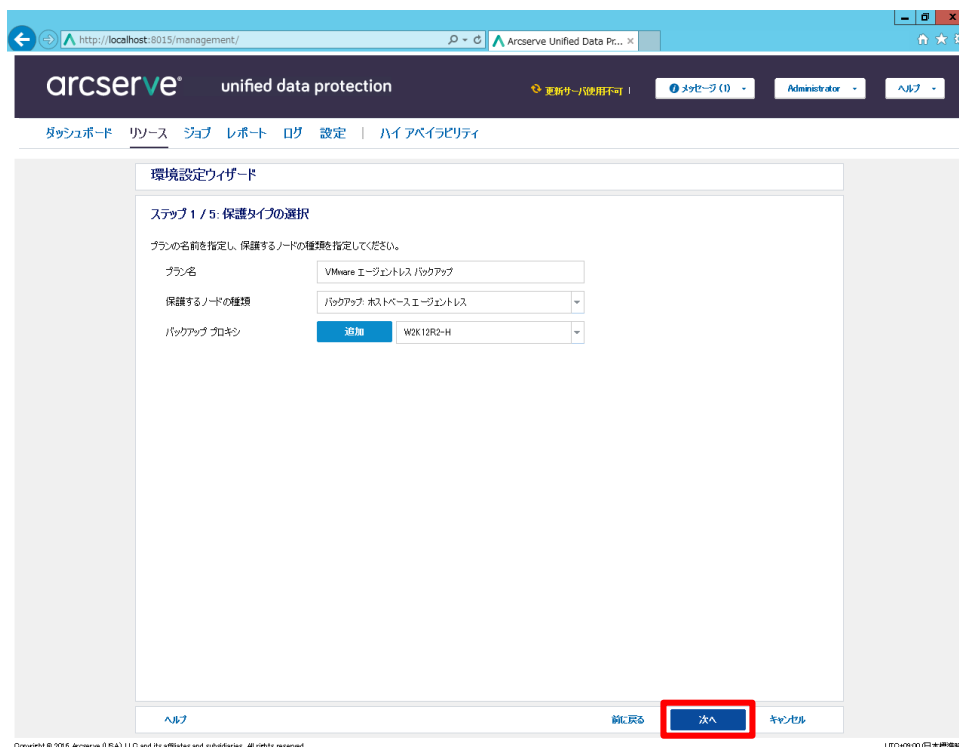
バックアップ プロキシ\*を設定するため、[追加]ボタンをクリックします。



バックアップ プロキシ サーバの情報を入力する画面が表示されるので、[ホスト名/IP アドレス]、[ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[OK]をクリックします。

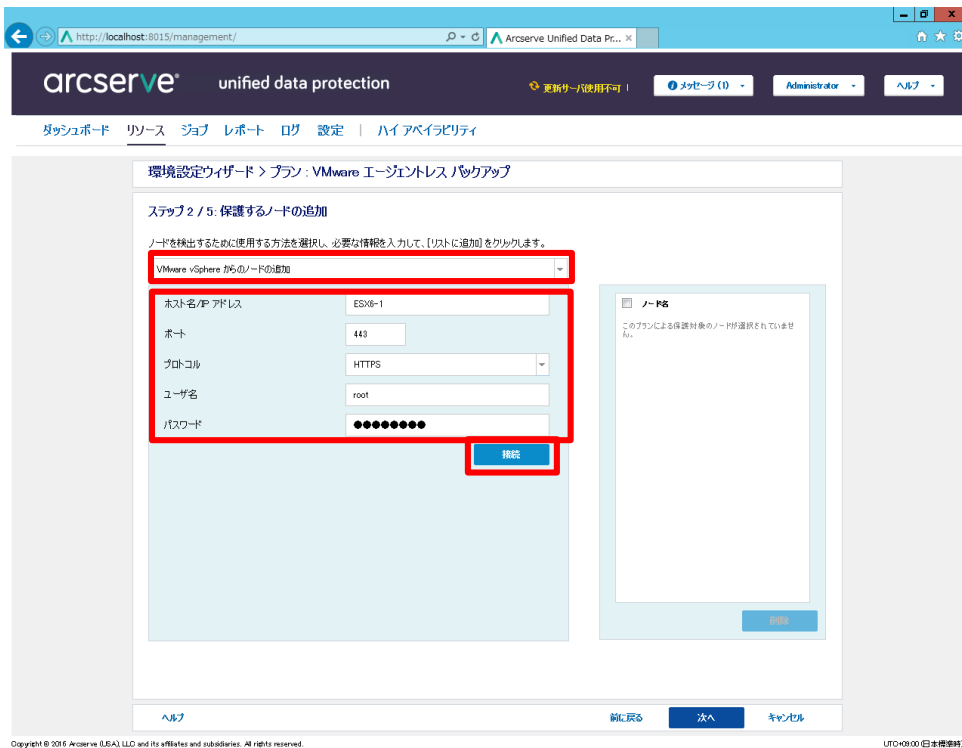


[次へ]をクリックします。

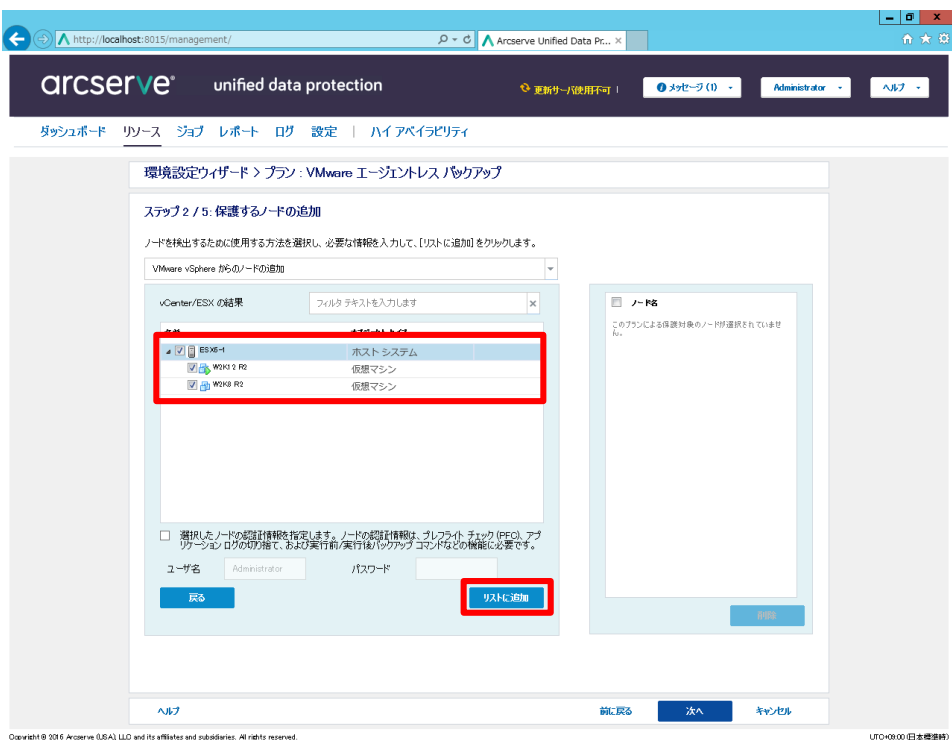


## (4) [ステップ 2/5 :保護するノードの追加]

[VMware vSphere からのノードの追加]が選択されていることを確認し、下図の枠内に、vCenter または ESXi ホストのノード名または IP アドレス、ポート番号、プロトコル、管理者権限のあるユーザー名、パスワードを入力し、[接続]をクリックします。



接続した vCenter または ESXi に登録されているノードが一覧表示されます。バックアップしたい対象の仮想マシンを選択し、[リストに追加]ボタンをクリックします（ホストを選択すると、全ての仮想マシンがバックアップ対象となります）。

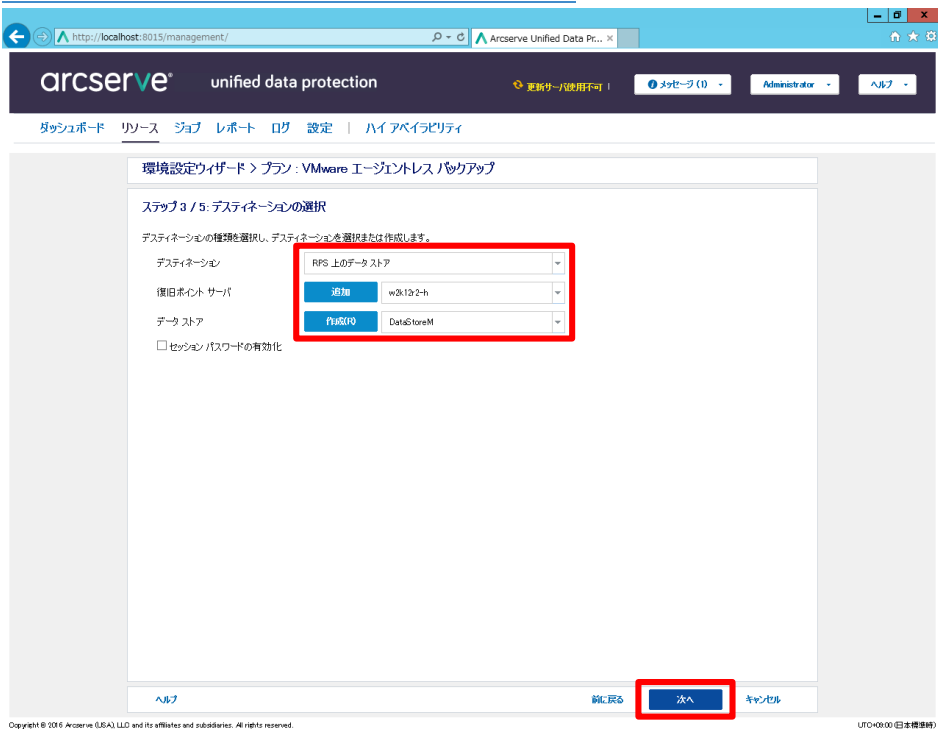


バックアップ対象として選択した仮想マシンが右側のペインに表示されたことを確認し、[次へ]をクリックします。



#### (5) [ステップ 3/5 : デスティネーションの選択]

バックアップ先を指定し、[次へ]をクリックします。データストアが作成されていない場合は、ここで作成することも可能です。データ ストアの作成方法は、別紙『[Arcserve Unified Data Protection v6 環境構築ガイド\(インストールから運用開始まで手順\)](#)』を参照してください。

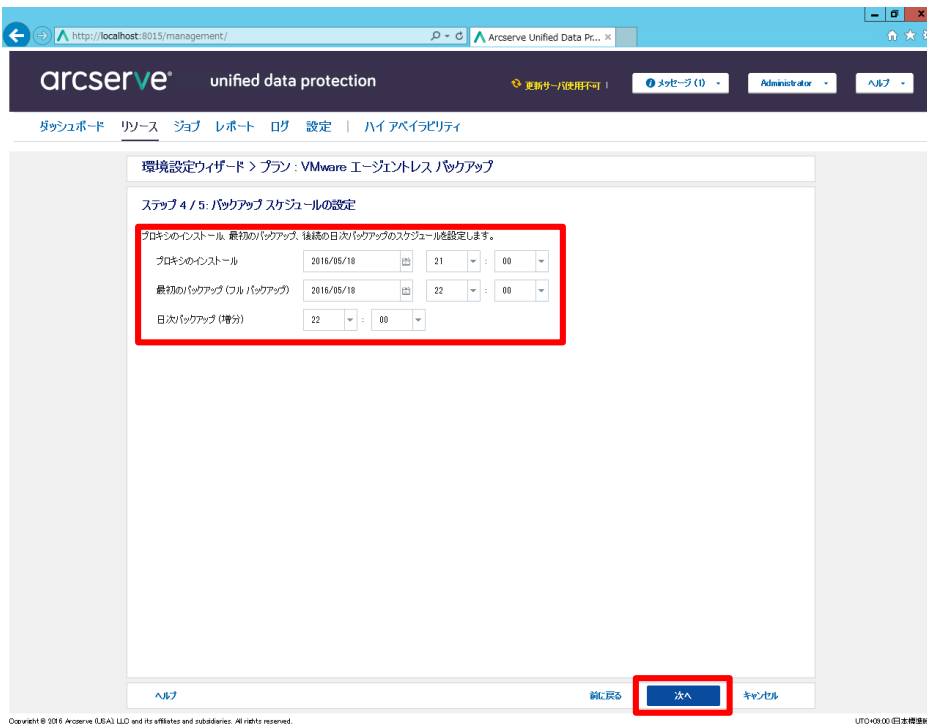


## (6) [ステップ 4/5 :バックアップ スケジュールの設定]

バックアップスケジュールを確認し、[次へ]をクリックします。

デフォルトの設定では以下の設定が行われています。必要に応じてスケジュール変更してください。

- ・プロキシのインストール : インストールした日の 21 時
- ・最初のバックアップ(フル バックアップ) : インストールした日の 22 時
- ・日次バックアップ(増分) : 22 時

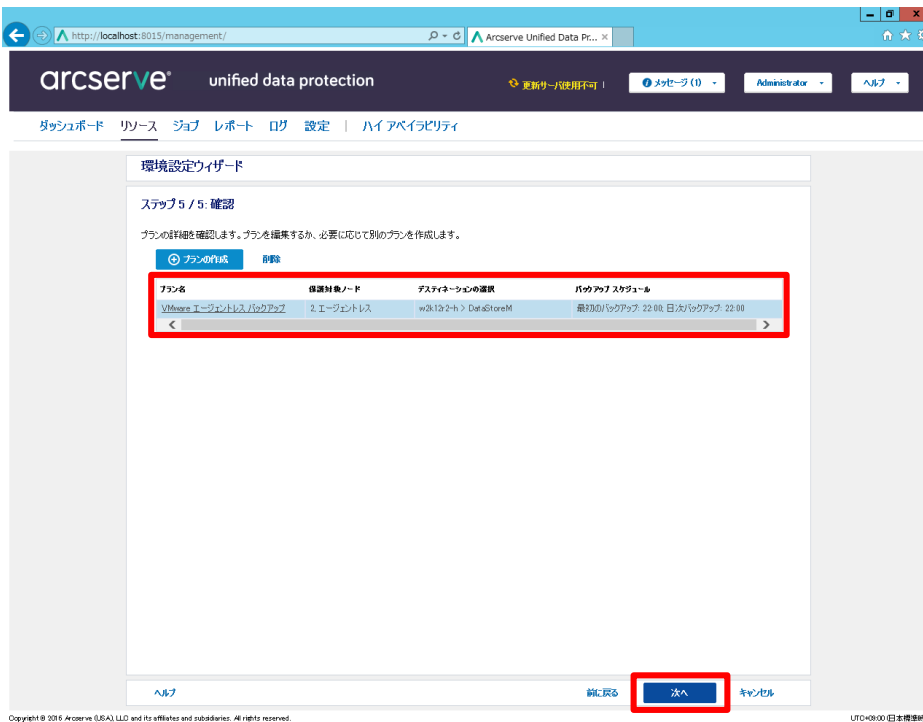


## ※注意

バックアップ プロキシ サーバに Arcserve UDP Agent がインストールされていない場合、[プロキシのインストール] のスケジュールに従って自動でリモートインストールを行います。リモートインストールの際、約 900MB のインストール モジュールが対象ノードに転送されます。リモートインストールを制限する場合、事前に手動にてインストールを実行してください。

## (7) [ステップ 5/5 : 確認]

プランの詳細を確認し、[次へ] をクリックします。

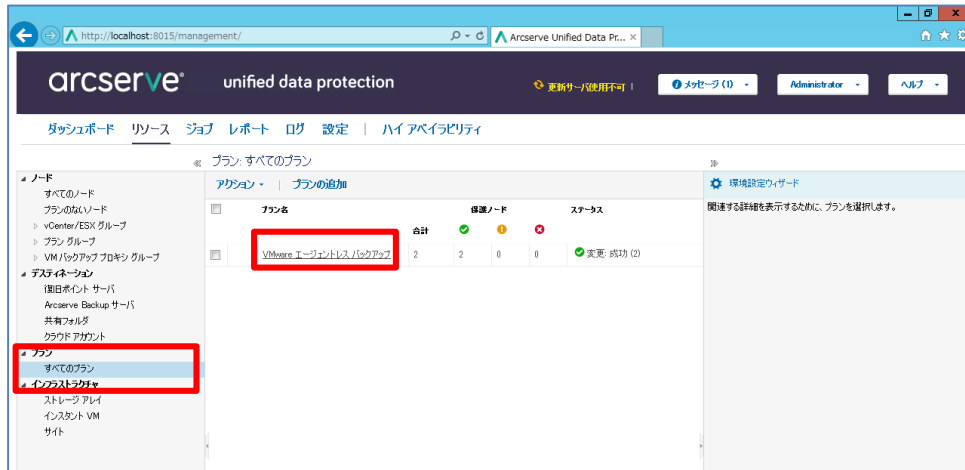


環境設定ウィザードにて [完了] をクリックします。



## (補足) プランの変更

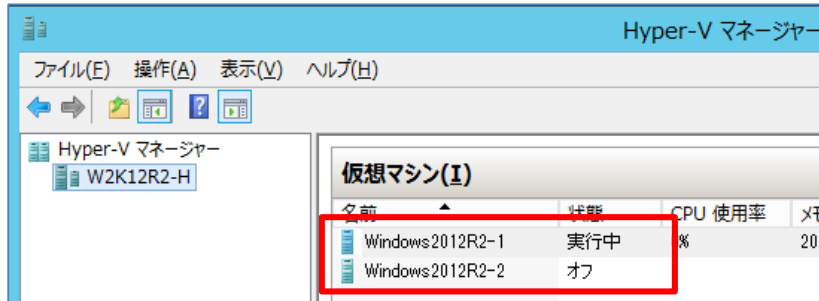
作成済みのプランを変更する場合、左ペインの [プラン] - [すべてのプラン] を選択し、対象のプランを選択し、変更することができます。



## 2.3 Hyper-V でのエージェントレス バックアップ

ここでは、以下の環境でエージェントレス バックアップの設定を行います。

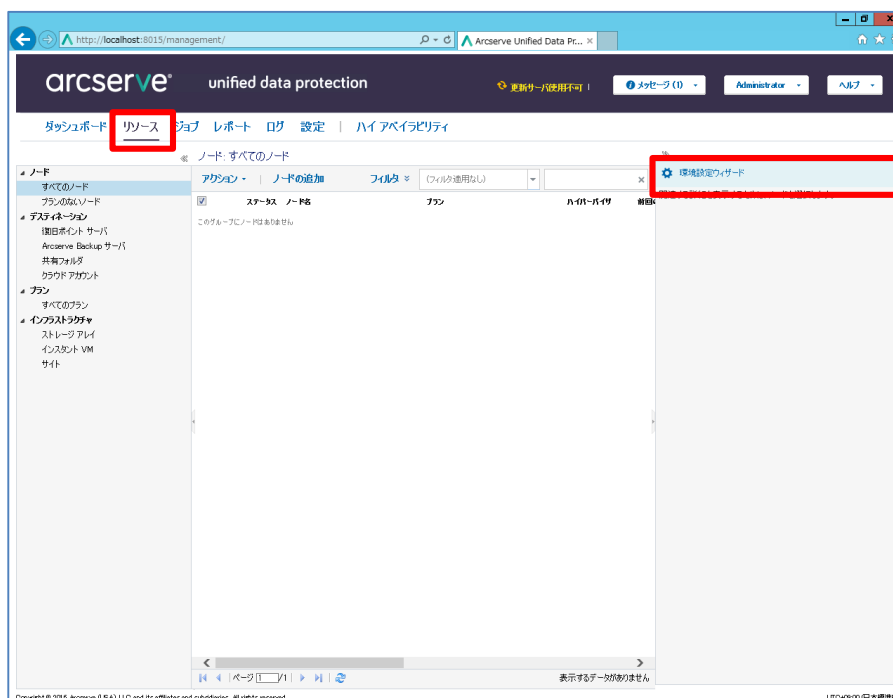
- ・ Hyper-V 上に 2 台の仮想マシンが登録済み。
- ・ 2 台の仮想マシンのうち、1 台は動作中、1 台は停止中。



## 2.4 Hyper-V でのエージェントレス バックアップ プランの作成

### (1) [Arcserve UDP 環境設定ウィザード]の起動

管理コンソールを起動し、[環境設定ウィザード]を表示します。管理コンソールを起動するのが 2 回目以降の場合、[環境設定ウィザード]は表示されません。再度表示するには、[リソース] タブをクリックし、右ペインで [環境設定ウィザード] をクリックします。





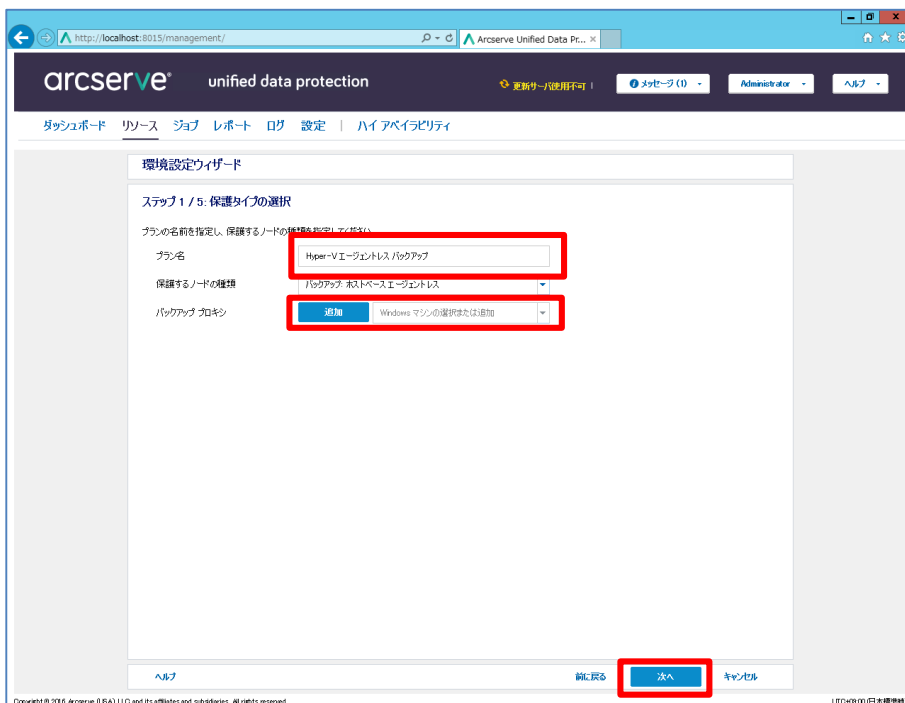
## (2) [Arcserve UDP 環境設定ウィザードへようこそ]

環境設定ウィザードを利用して、バックアップ プランを作成します。[次へ] をクリックします。

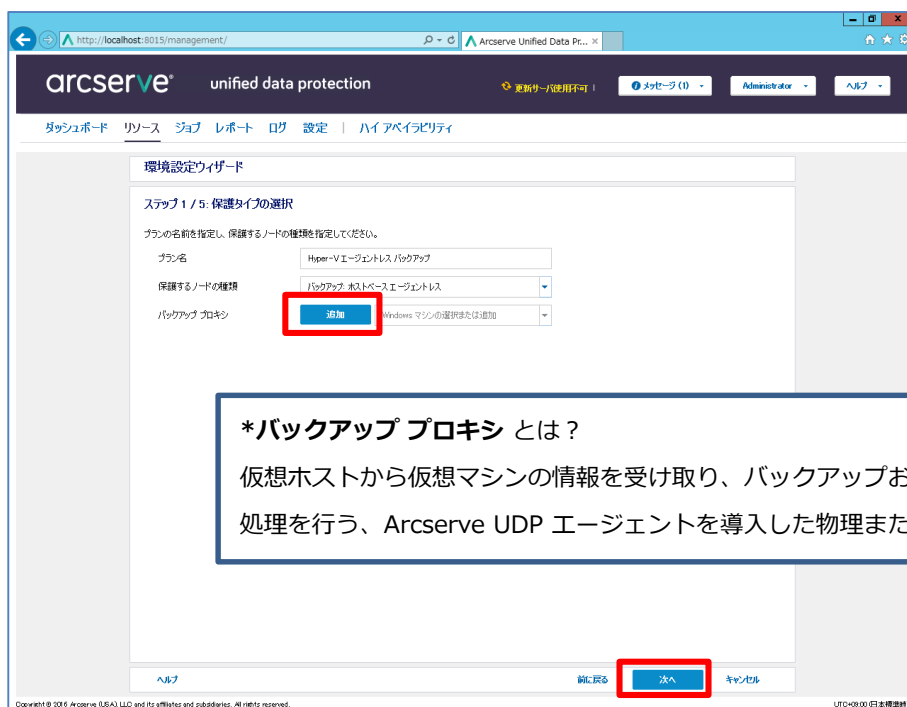


## (3) [ステップ 1/5 :保護タイプの選択]

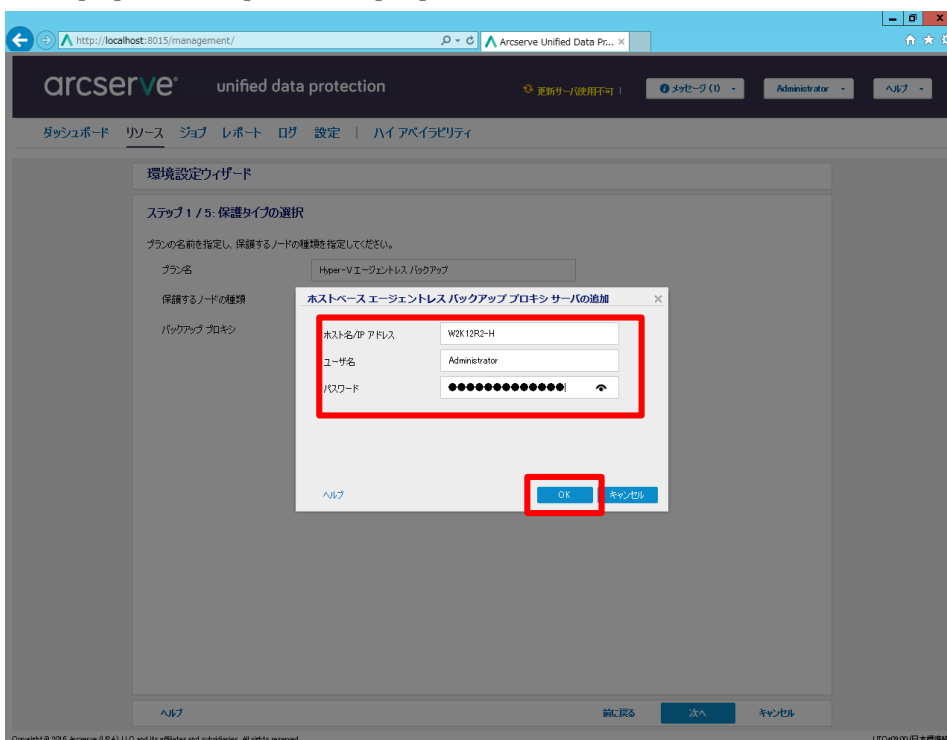
任意の[プラン名] を入力し、[保護するノードの種類] で[バックアップ : ホストベース エージェントレス]を選択し、[次へ] をクリックします。



バックアップ プロキシ\*を設定するため、[追加]ボタンをクリックします。



バックアップ プロキシ サーバの情報を入力する画面が表示されるので、[ホスト名/IP アドレス]、[ユーザ名]、[パスワード]を入力し、[OK]をクリックします。



[次へ]をクリックします。

環境設定ウィザード

ステップ 1 / 5: 保護タイプの選択

プランの名前を指定し、保護するノードの種類を指定してください。

プラン名

保護するノードの種類

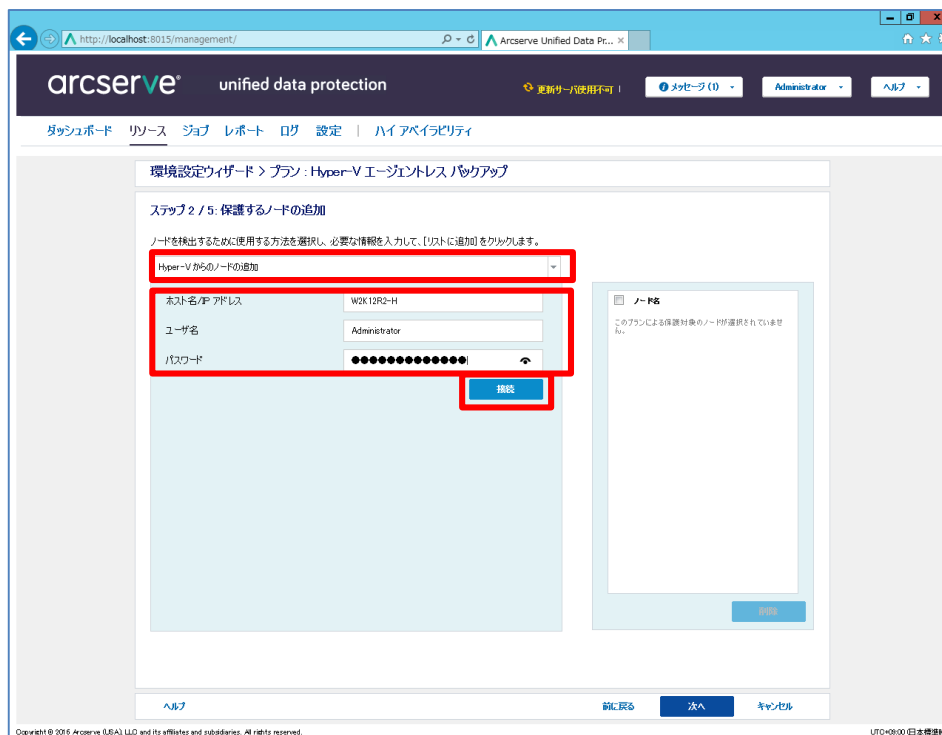
バックアップ プロキシ

ヘルプ

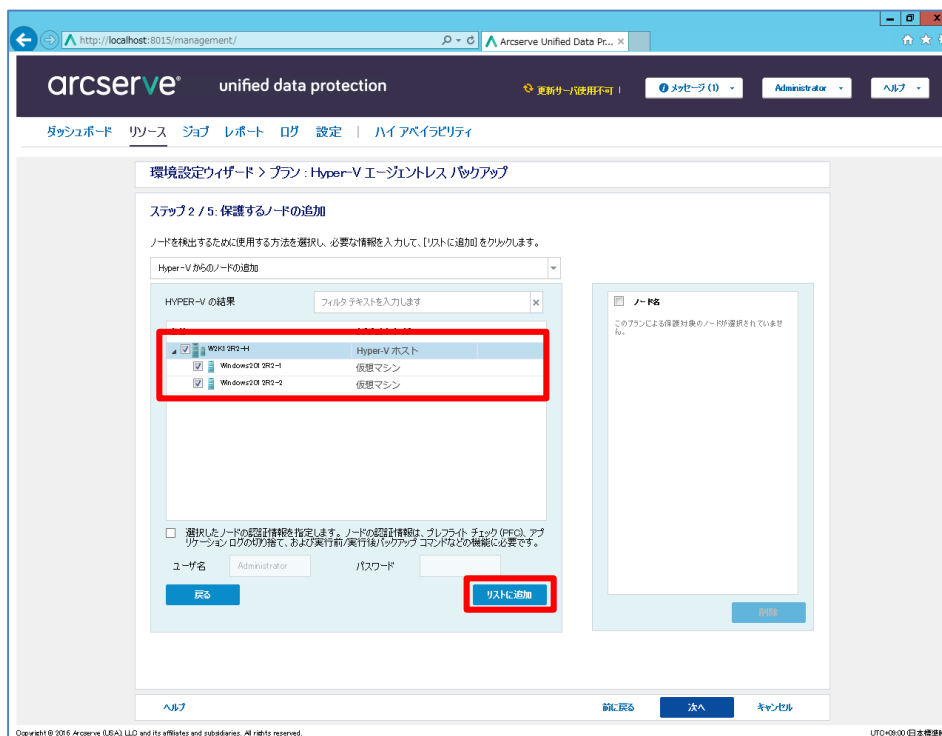
Copyright © 2016 Arcserve (USA) LLC and its affiliates and subsidiaries. All rights reserved. UTC+09:00 (日本標準時)

## (4) [ステップ 2/5 :保護するノードの追加]

[Hyper-V からのノードの追加]を選択し、下図の枠内に、Hyper-V ホストのノード名または IP アドレス、管理者権限のあるユーザ名、パスワードを入力し、[接続]をクリックします。



接続した Hyper-V に登録されているノードが一覧表示されます。バックアップしたい対象の仮想マシンを選択し、[リストに追加]ボタンをクリックします（ホストを選択すると、全ての仮想マシンがバックアップ対象となります）。

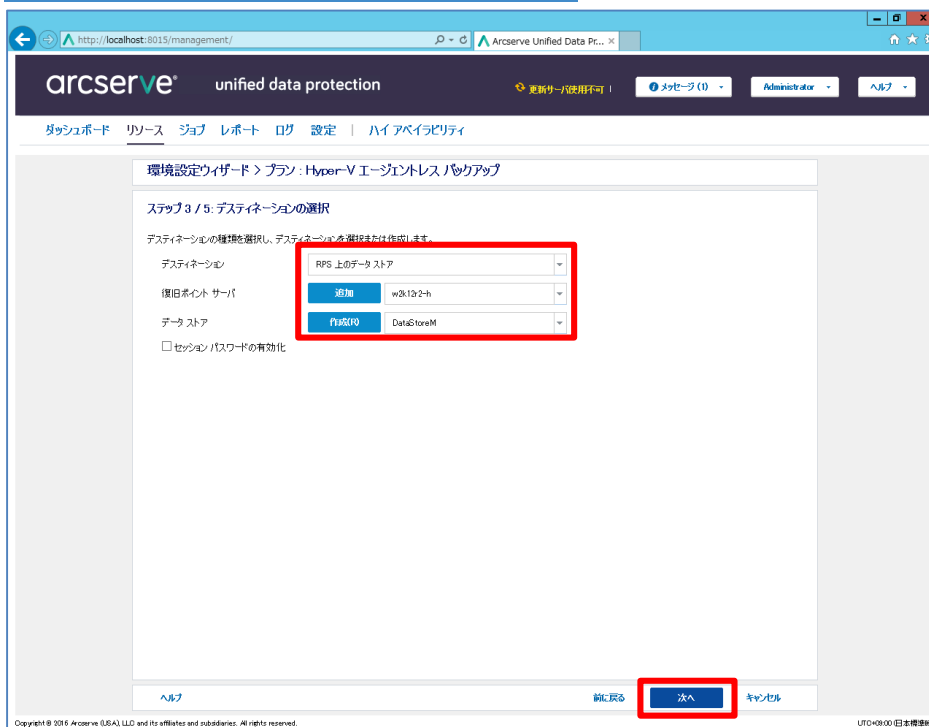


バックアップ対象として選択した仮想マシンが右側のペインに表示されたことを確認し、[次へ]をクリックします。



#### (5) [ステップ 3/5 : デスティネーションの選択]

バックアップ先を指定し、[次へ]をクリックします。データストアが作成されていない場合は、ここで作成することも可能です。データストアの作成方法は、別紙『[Arcserve Unified Data Protection v6 環境構築ガイド\(インストールから運用開始まで手順\)](#)』を参照してください。

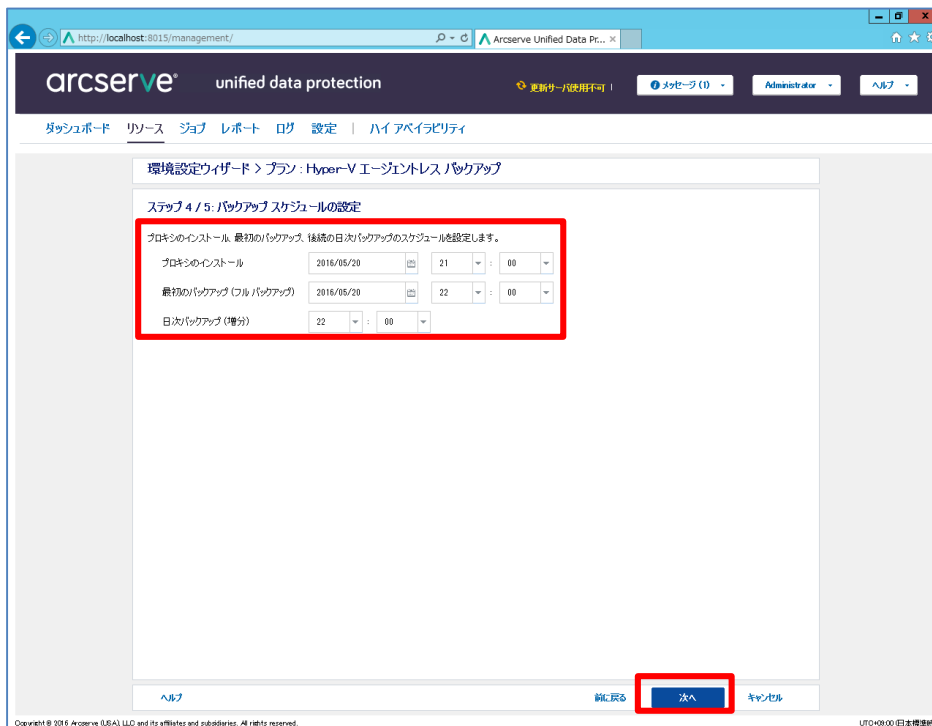


## (6) [ステップ 4/5 :バックアップ スケジュールの設定]

バックアップスケジュールを確認し、[次へ] をクリックします。

デフォルトの設定では以下の設定が行われています。必要に応じてスケジュール変更してください。

- ・プロキシのインストール : インストールした日の 21 時
- ・最初のバックアップ(フル バックアップ) : インストールした日の 22 時
- ・日次バックアップ(増分) : 22 時

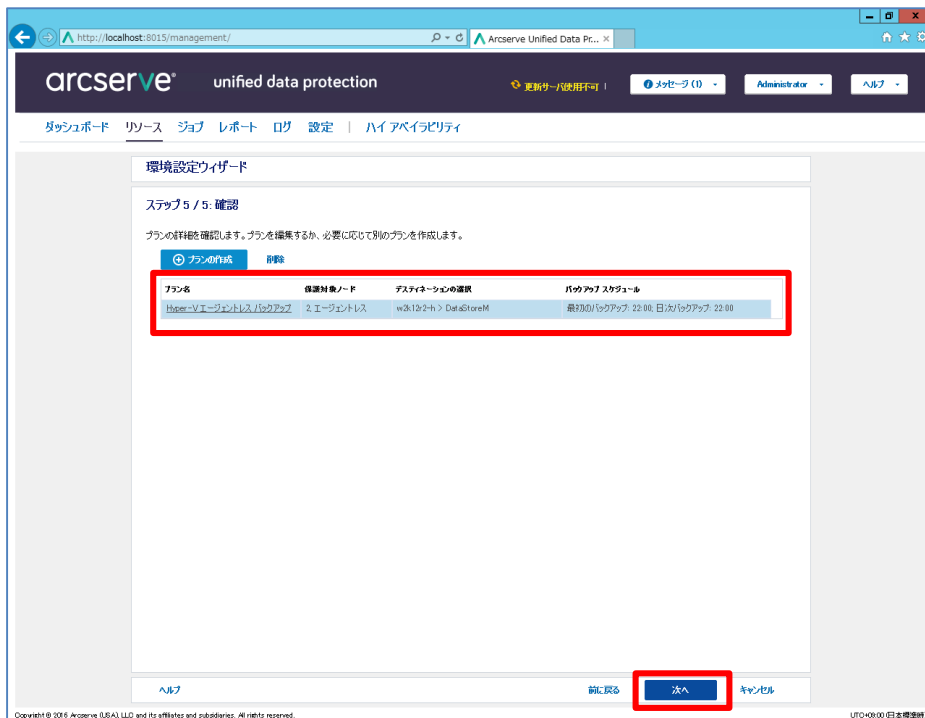


## ※注意

バックアップ プロキシ サーバに Arcserve UDP Agent がインストールされていない場合、[プロキシのインストール] のスケジュールに従って自動でリモートインストールを行います。リモートインストールの際、約 900MB のインストール モジュールが対象ノードに転送されます。リモートインストールを制限する場合、事前に手動にてインストールを実行してください。

## (7) [ステップ 5/5 : 確認]

プランの詳細を確認し、[次へ] をクリックします。

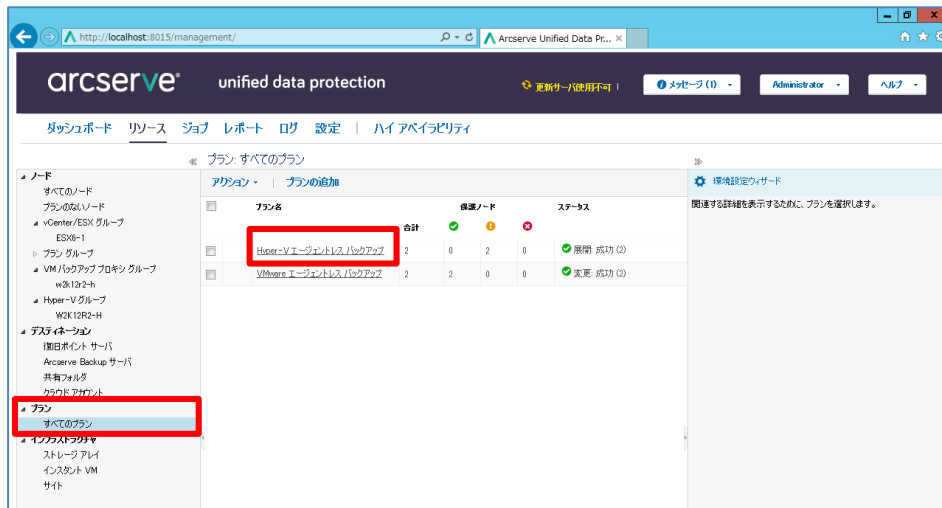


環境設定ウィザードにて [完了] をクリックします。



[補足] プランの変更

作成済みのプランを変更する場合、左ペインの [プラン] - [すべてのプラン] を選択し、対象のプランを選択し、変更することができます。

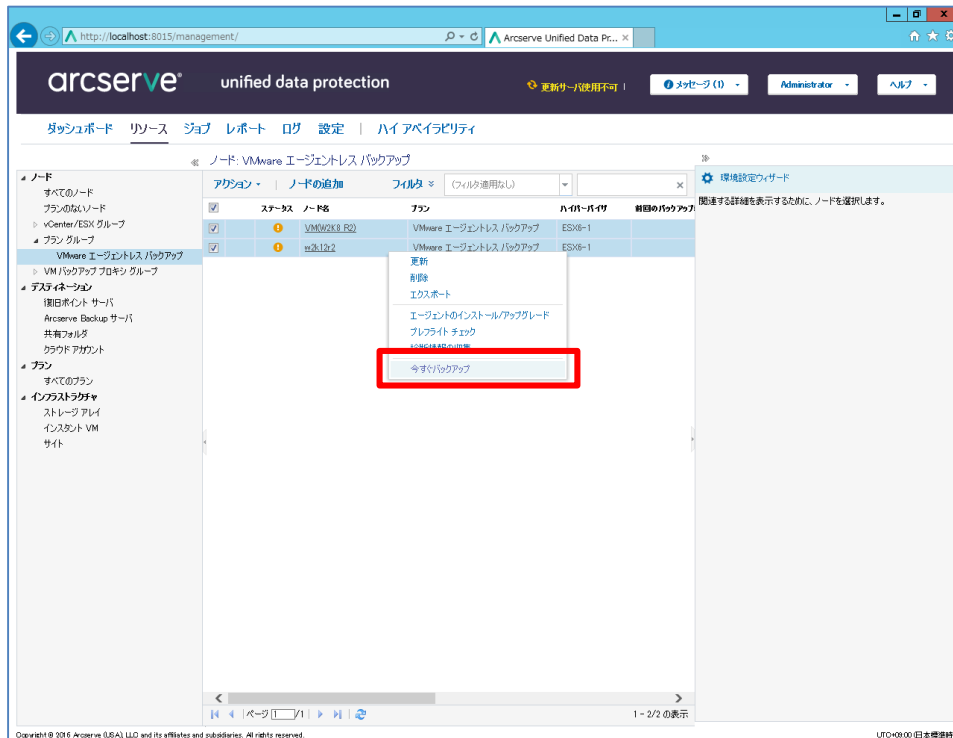




## 2.5 バックアップの実行

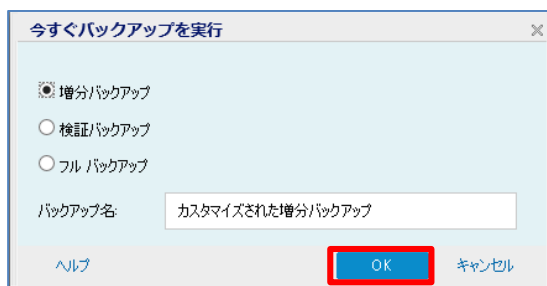
### (1) [手動バックアップ]

手動でバックアップを実行します。追加されたプランにて、対象ノードを右クリックして出てくるメニューから、[今すぐバックアップ]をクリックします。（対象ノードを選択し、[アクション] - [今すぐバックアップ]からも選択できます）

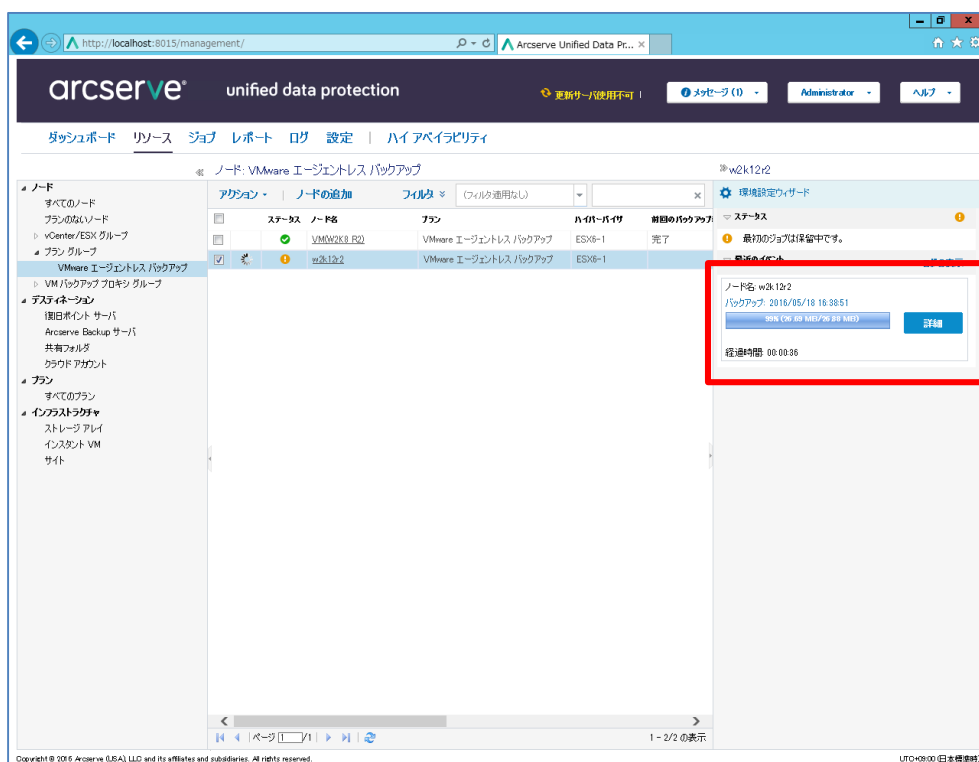


### (2) [今すぐバックアップを実行]

バックアップ タイプを選択するポップアップが表示されます。デフォルトでは増分バックアップが選択されていますが、初回バックアップは自動的にフルバックアップに変換されます。[バックアップ名]を任意で入力し、[OK]をクリックします。



バックアップジョブがサブミットされ、[最新のイベント]にジョブの実行状況が表示されます。



## 3. リストア/リカバリ

UDP でバックアップ済みのデータをリストアする方法を説明します。

以下の 5 つの方法から障害に応じたリストア作業を行えます。

### 3.1 ファイル/フォルダのリストア (OS 領域はリストアしない)

3.1.1. [ファイル/フォルダの一括選択 \(複数選択\) リストア](#)

3.1.2. [リストアするファイル/フォルダの検索](#)

3.1.3. [エクスプローラからのリストア](#)

### 3.2 OS を含めたマシン全体の復旧

3.2.1. [仮想マシンへの復旧](#)

3.2.2. [物理マシンへの復旧](#)

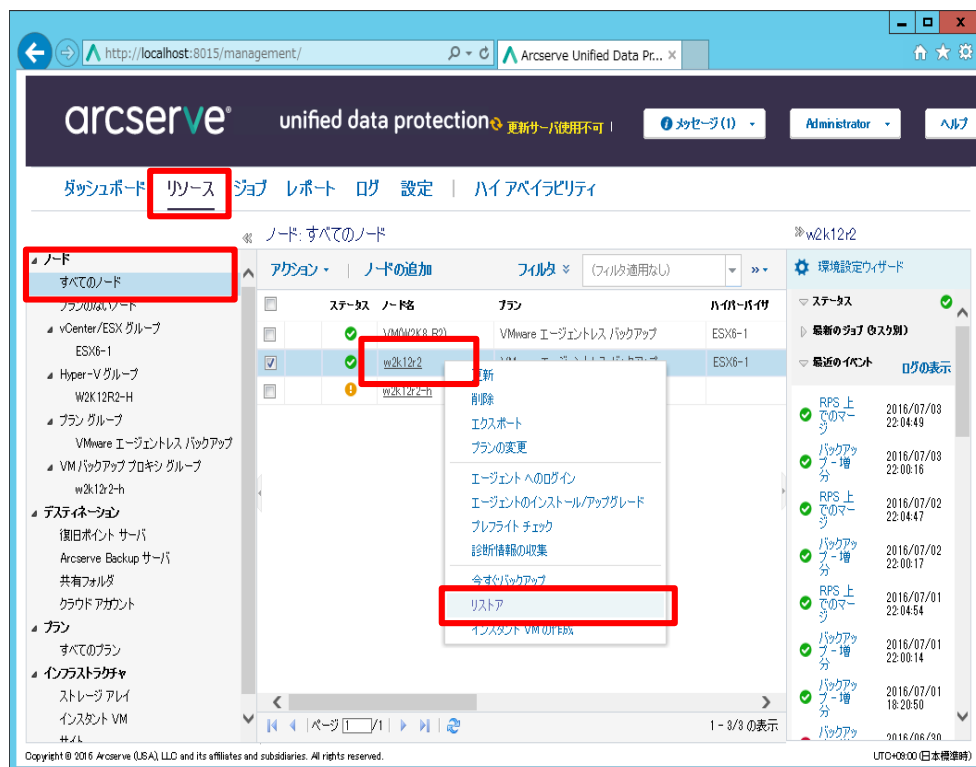
### 3.1. ファイル/フォルダのリストア (OS 領域はリストアしない)

#### 3.1.1. ファイル/フォルダの一括選択 (複数選択) リストア

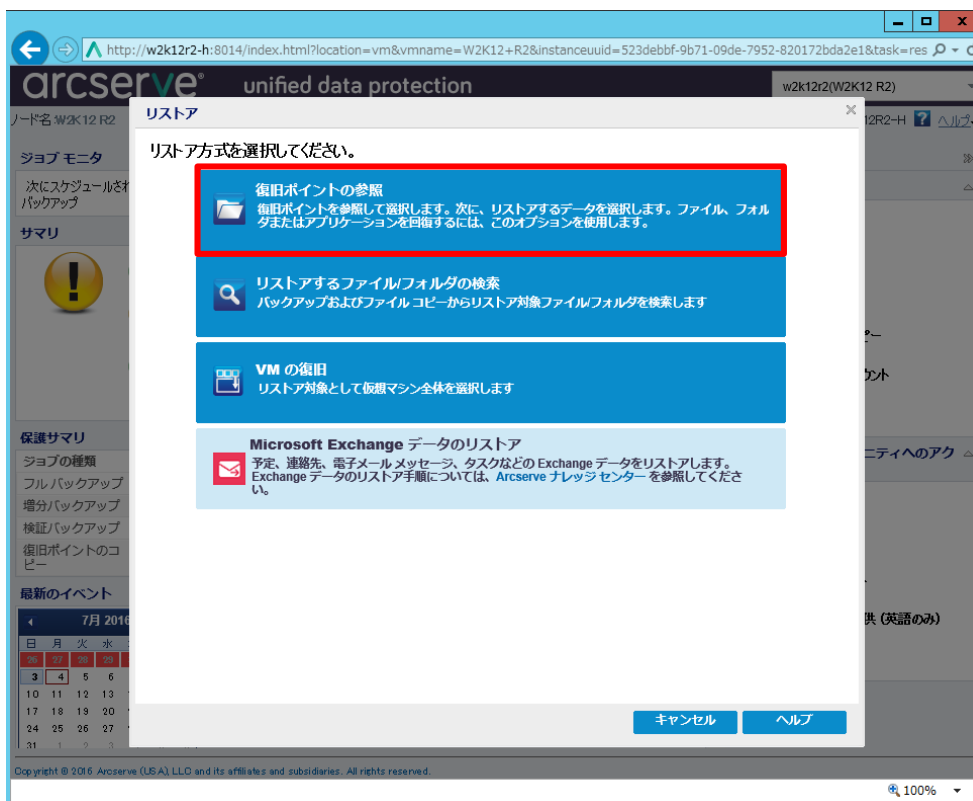
仮想マシンのエージェントレス バックアップから仮想マシン内のファイル レベルのリストアが可能です。  
複数のファイル/フォルダをまとめてリストアする場合は、[復旧ポイントの参照]から行います。

- 1) コンソールからリソースタブを開きます。

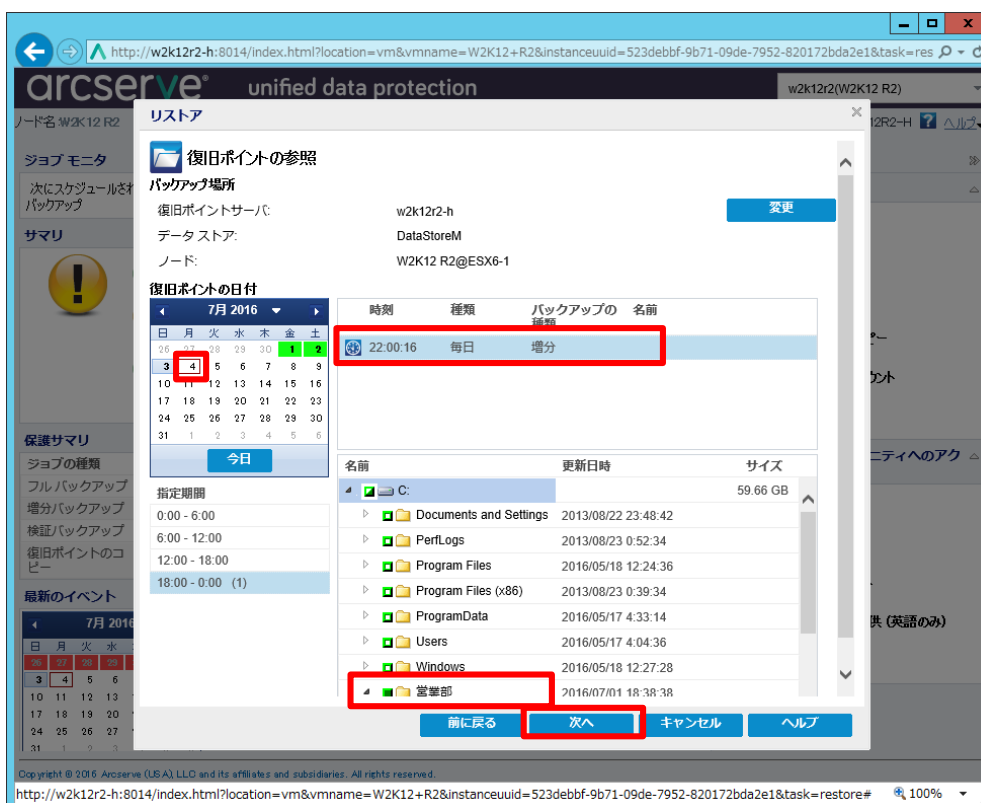
[すべてのノード]からリストアしたい対象のマシンを右クリックし、[リストア]を選択します。




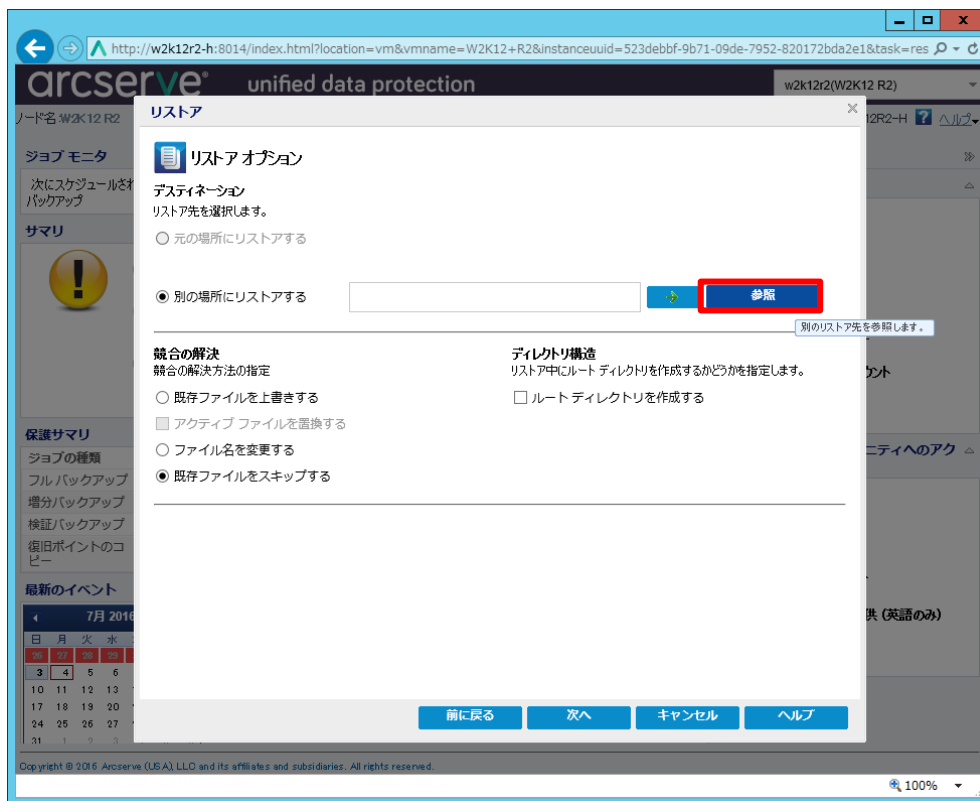
- 2) [リストア方式の選択]画面が表示されるため、[復旧ポイントの参照]をクリックします。



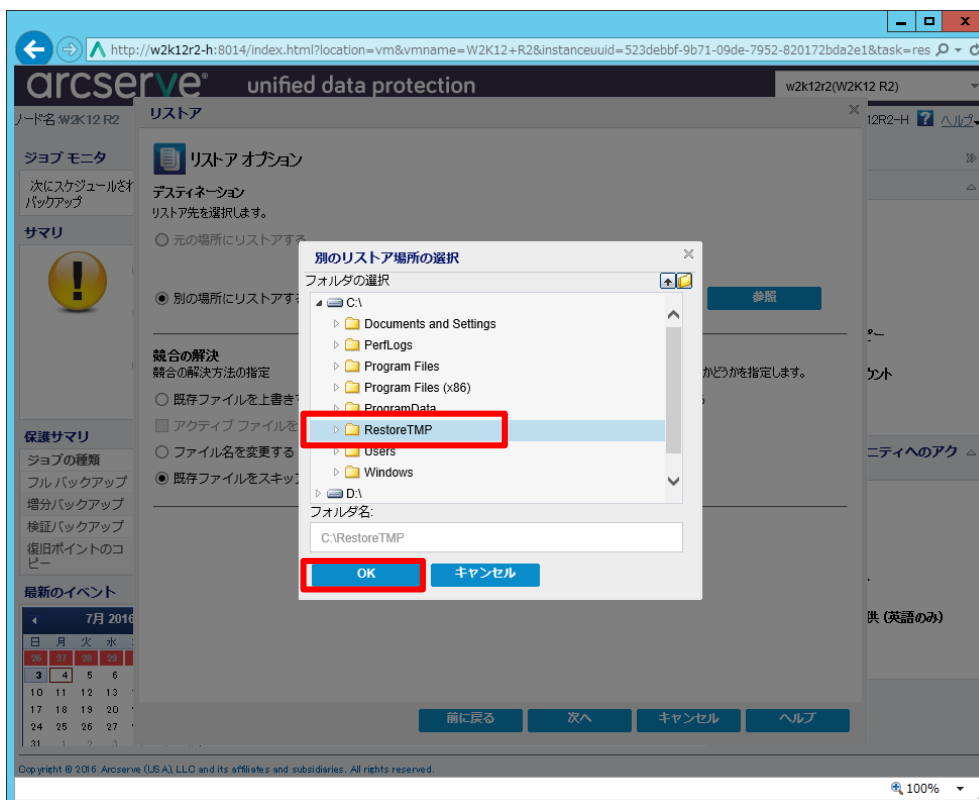
- 3) 復旧ポイントの日付とバックアップ時間を確認し、リストアしたいファイルやフォルダを選択し、[次へ]をクリックします。



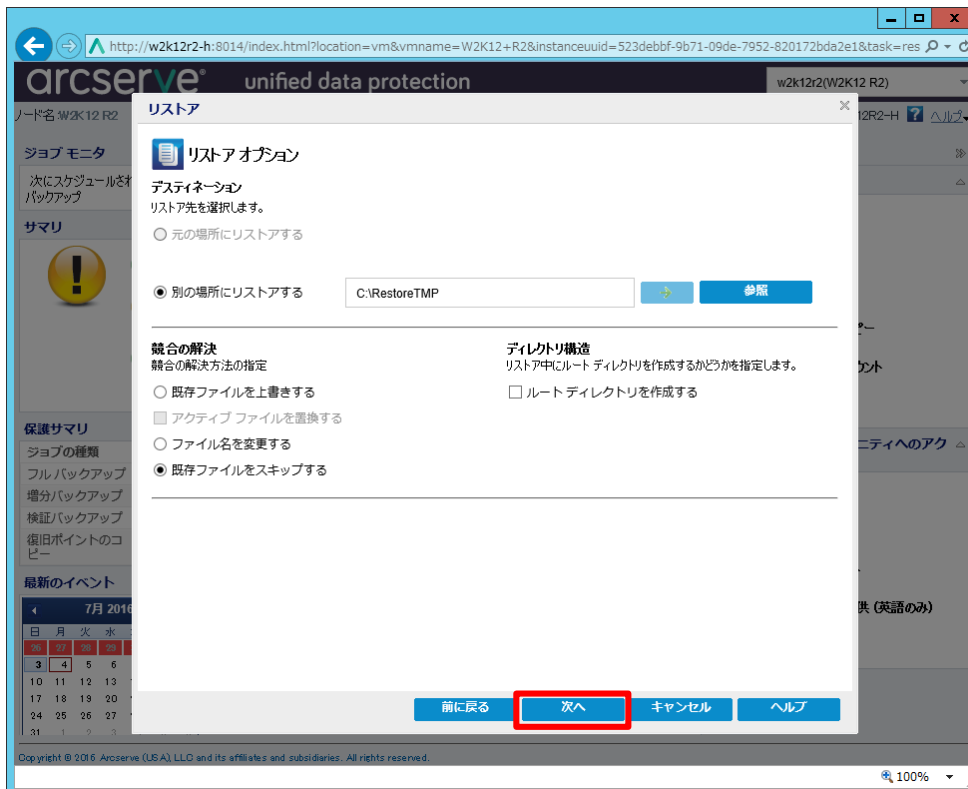
- 4) リストア先のフォルダを決定するため、[参照]ボタンをクリックし、リストア先を指定します。  
ここでは、RPS のローカルにフォルダにリストアします。  
※コンソールからは元の場所にリストアは選択できません。元の場所がネットワーク上のサーバにある場合は、元の場所を¥¥で始まる UNC パスで元の場所を入力し、 ボタンをクリックして認証情報を入力します。



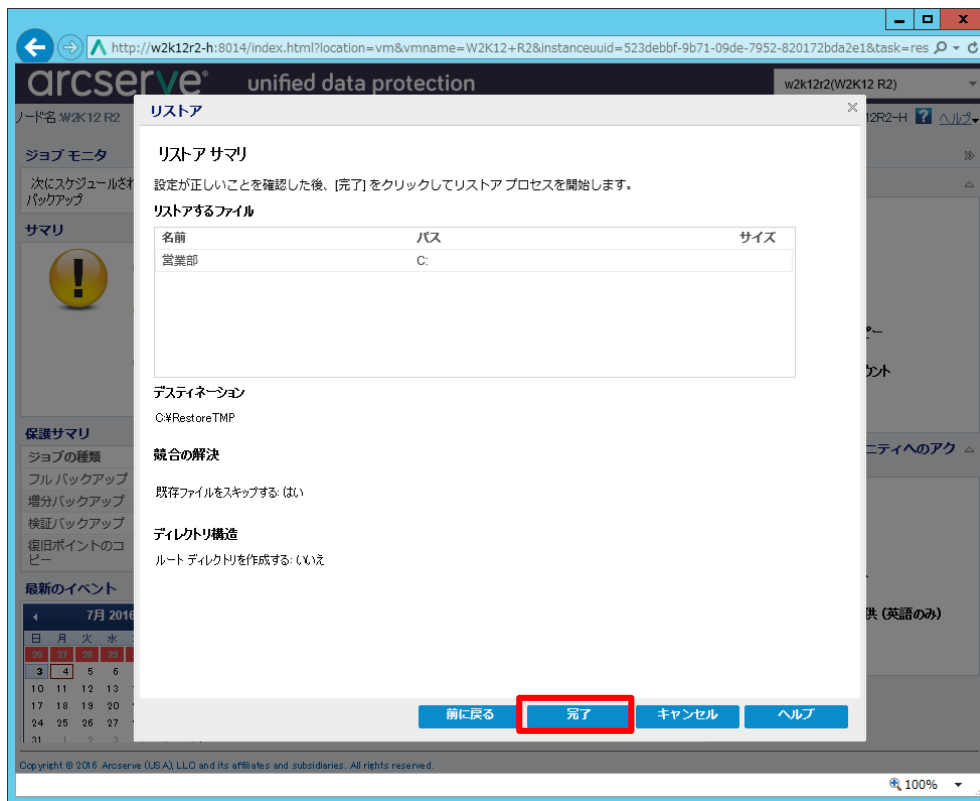
リストア先を選択して[OK]をクリックします。



リストア先が入力されたことを確認し、[次へ]をクリックします。



リストア設定が正しいことを確認した後、[完了]ボタンをクリックします。



以上で[復旧ポイントの参照]を利用した復旧は完了です。

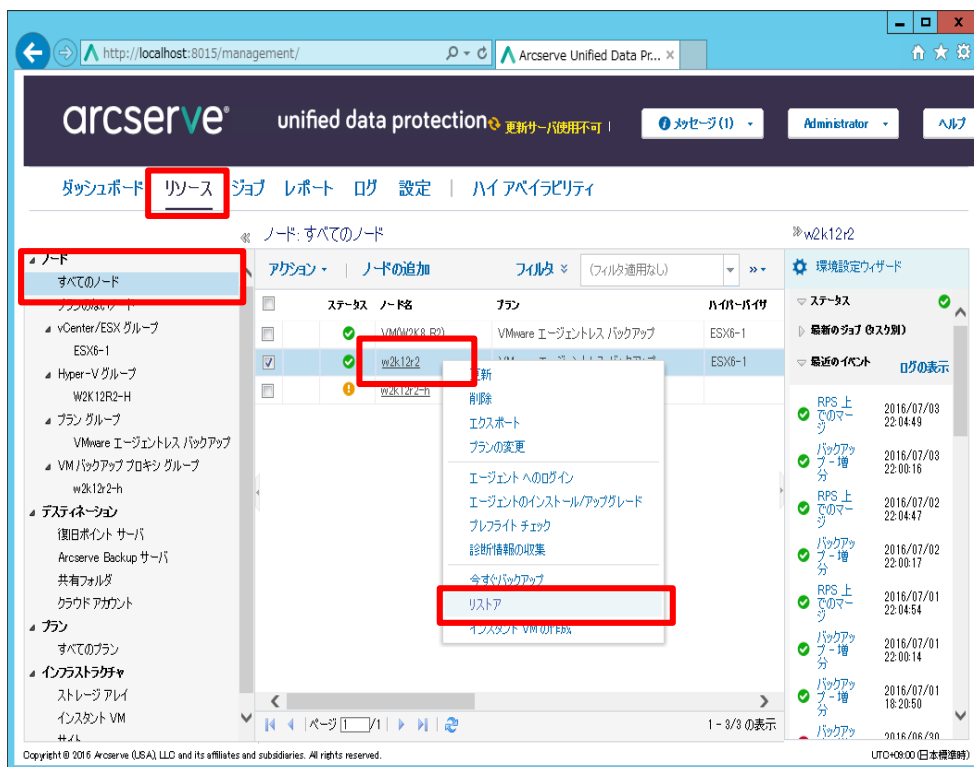


### 3.1.2. リストアするファイル/フォルダの検索

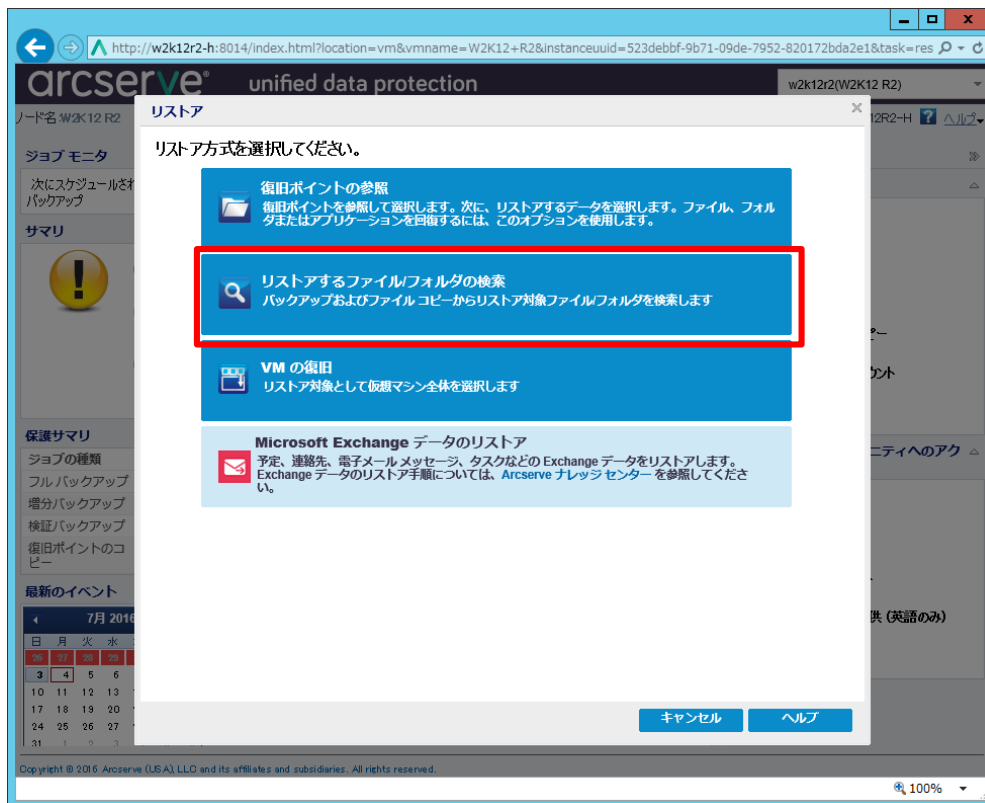
仮想マシンのエージェントレス バックアップから仮想マシン内のファイル レベルのリストアが可能です。ファイル/フォルダを検索して、表示された結果の中から選択する場合は[リストアするファイル/フォルダの検索]を利用します。

1) コンソールからリソースタブを開きます。

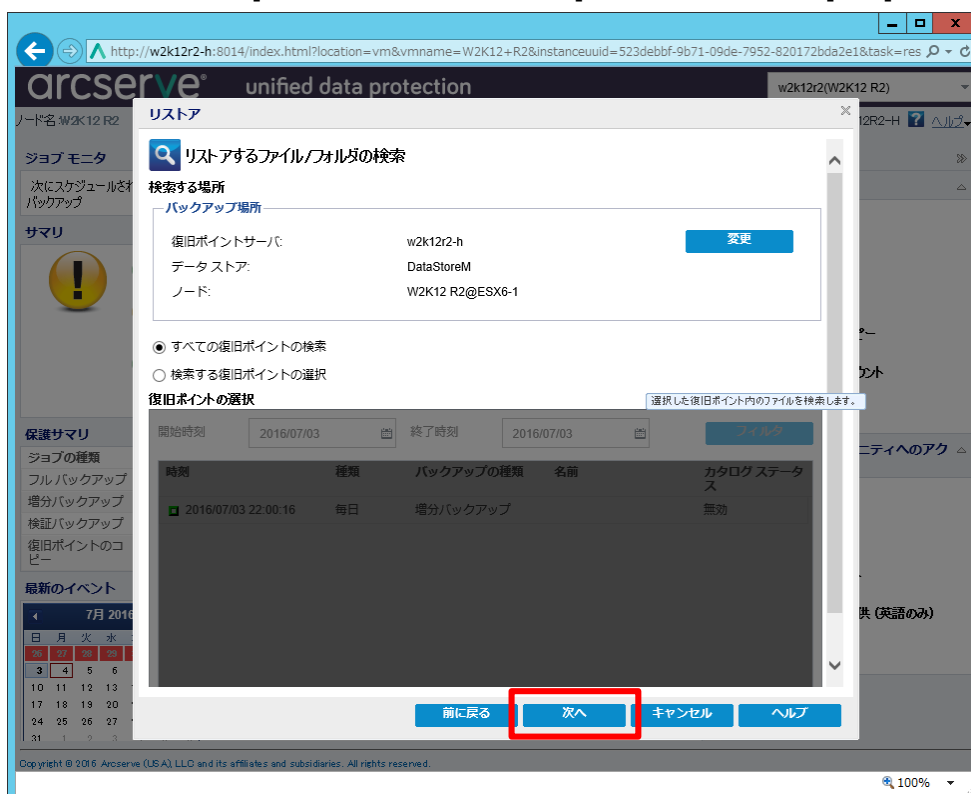
[すべてのノード]からリストアしたい対象のマシンを右クリックし、[リストア]を選択します。



- 2) [リストア方式の選択]画面が表示されるため、[復旧ポイントの参照]をクリックします。



- 3) 検索する場所を指定し、[すべての復旧ポイントの検索]か、[検索する復旧ポイントの選択]を指定します。  
(ここではデフォルトの[すべての復旧ポイントの検索]をするため、そのまま[次へ]をクリックします。)



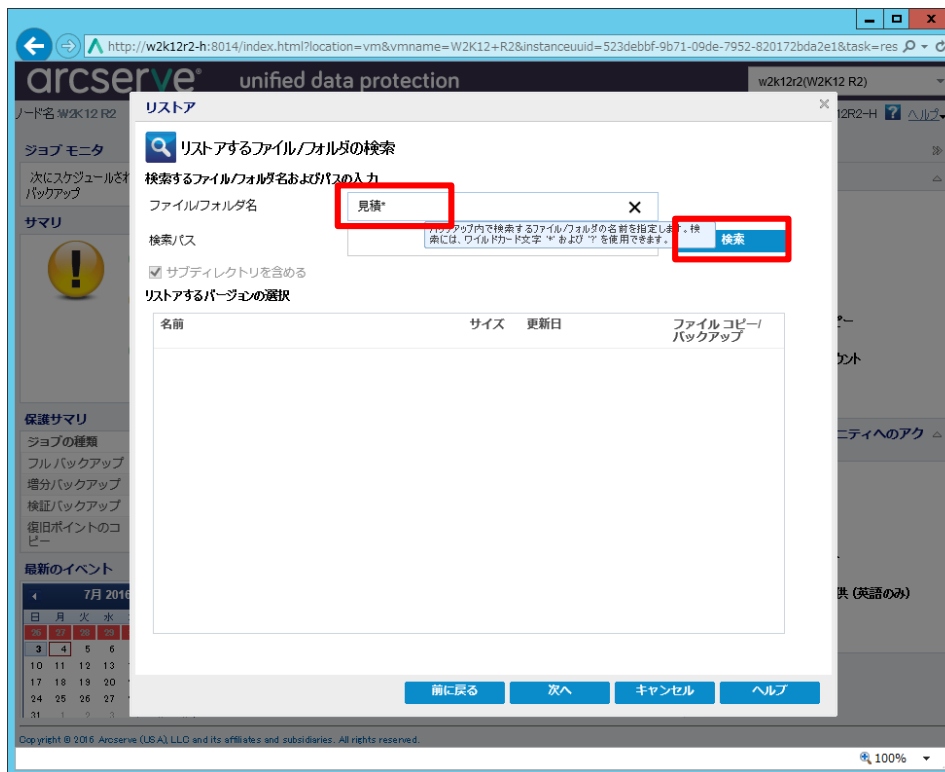
- 4) 復旧ポイントの日付とバックアップ時間を確認し、リストアしたいファイルやフォルダを選択し、[次へ]をクリックします。

カタログ作成の有無を確認するポップアップが表示されるので、カタログを**作成しない**場合は[はい]を、カタログを**作成する場合**は[いいえ]を選択します。カタログが作成されていると検索結果の時間が短縮できますが、カタログ作成に時間がかかります。また、カタログが作成されていなくても検索リストアを実施することは可能です。今後も頻繁に検索リストアを利用する場合はカタログを作成することをお勧めします。

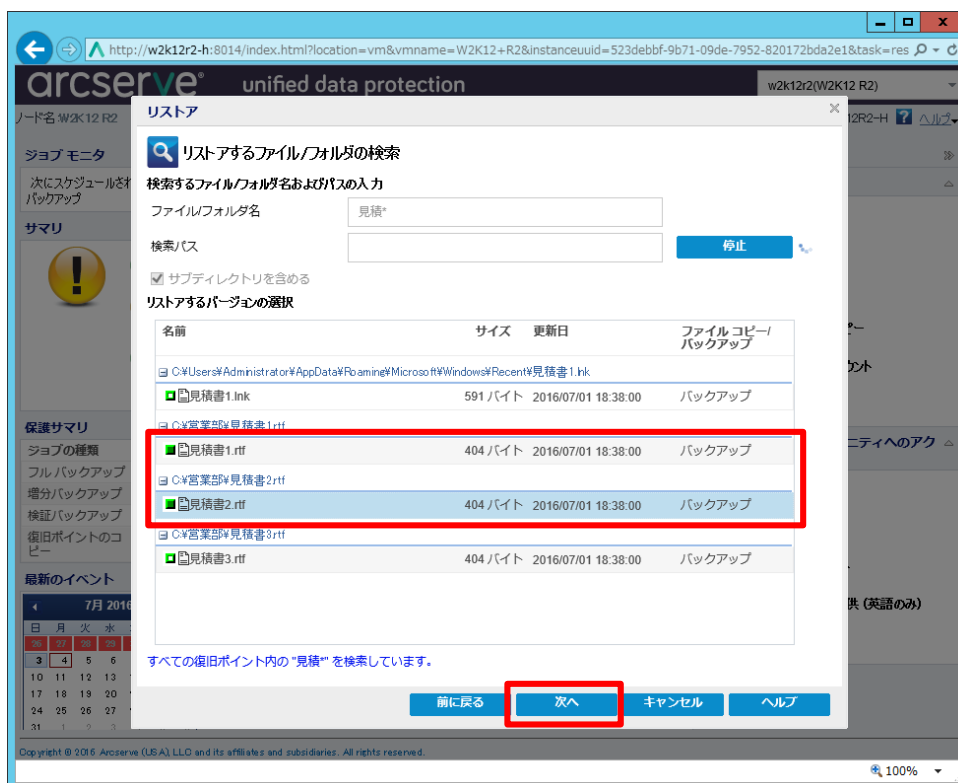
ここでは、カタログを作成せずに検索をするため、[はい]をクリックします。



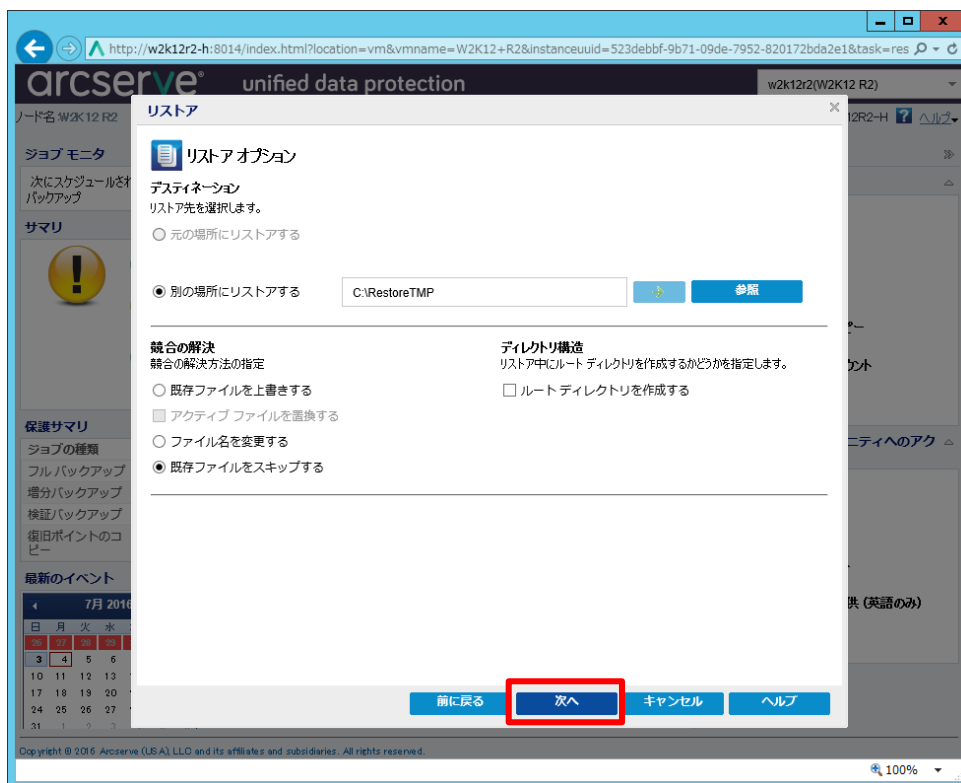
- 5) 検索するファイル/フォルダの文字列を入力します。検索対象のパスが分かる場合はパスを入力し、[検索]をクリックします。



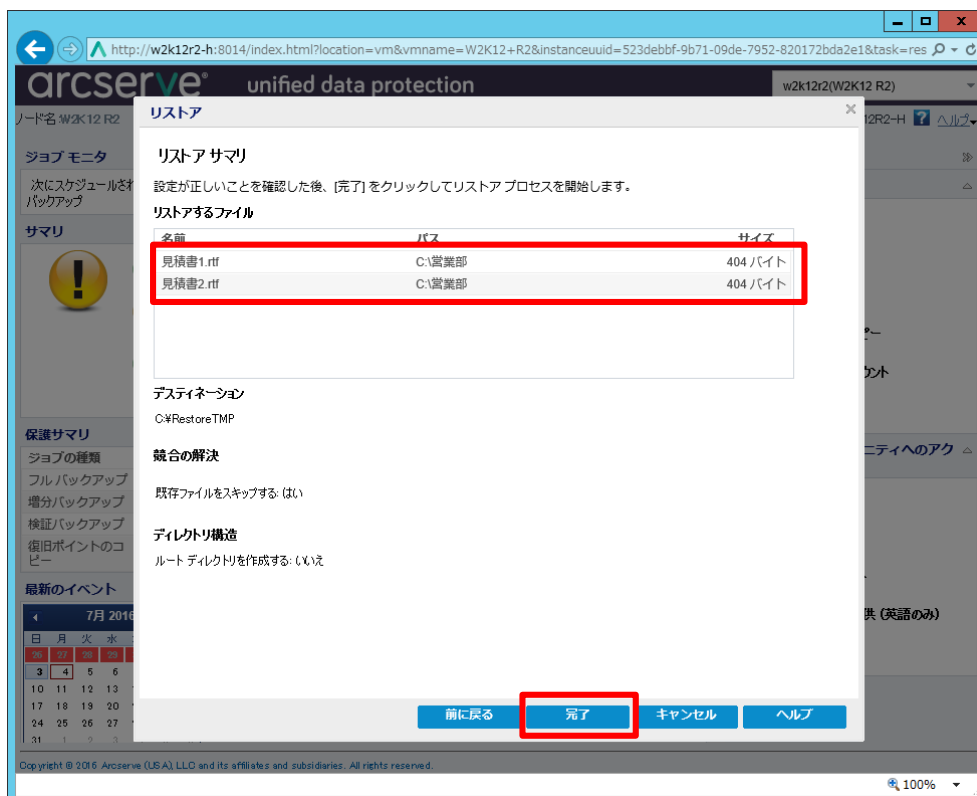
- 6) 検索結果から、目的のファイル/フォルダを選択し、[次へ]をクリックします（ファイル横の□をクリックして塗りつぶした状態にすると選択されます）。



- 7) リストア場所を選択し、[次へ]をクリックします。



- 8) 検索結果から、目的のファイル/フォルダを選択し、[次へ]をクリックします（ファイル横の□をクリックして塗りつぶした状態にすると選択されます）。



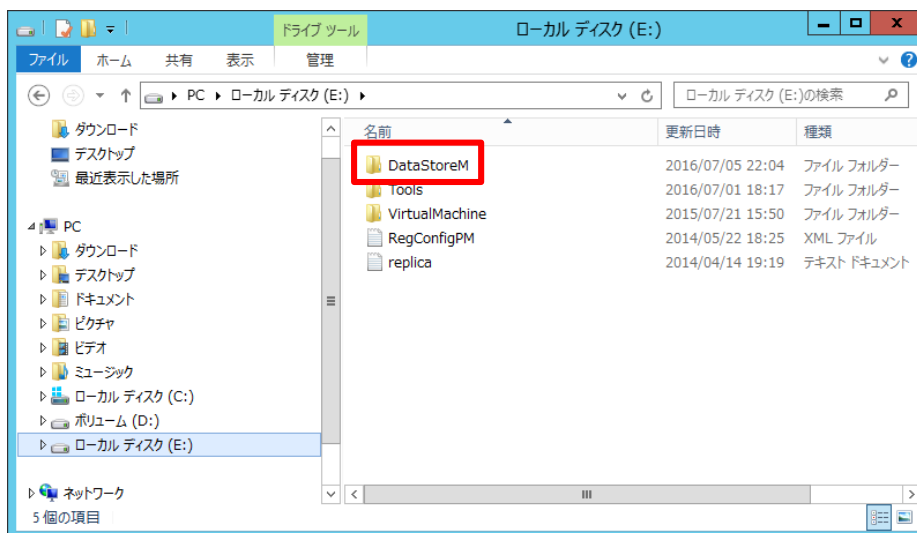
以上で、[リストアするファイル/フォルダの検索]を利用した復旧は完了です。

3.1.3. エクスプローラからのリストア

仮想マシンのエージェントレス バックアップから仮想マシン内のファイル レベルのリストアが可能です。UDP 復旧ポイントビューに切り替えて、Windows のエクスプローラからファイル/フォルダをリストアする手順を示します。

- 1) Windows エクスプローラを起動し、データストアが置かれているパスに移動します。

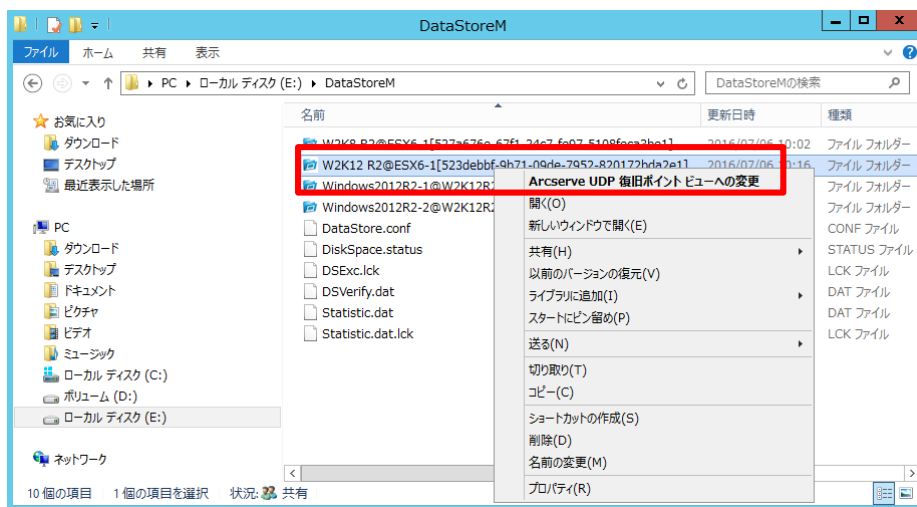
※ここでは「DataStoreM」にバックアップ データを保存しています。



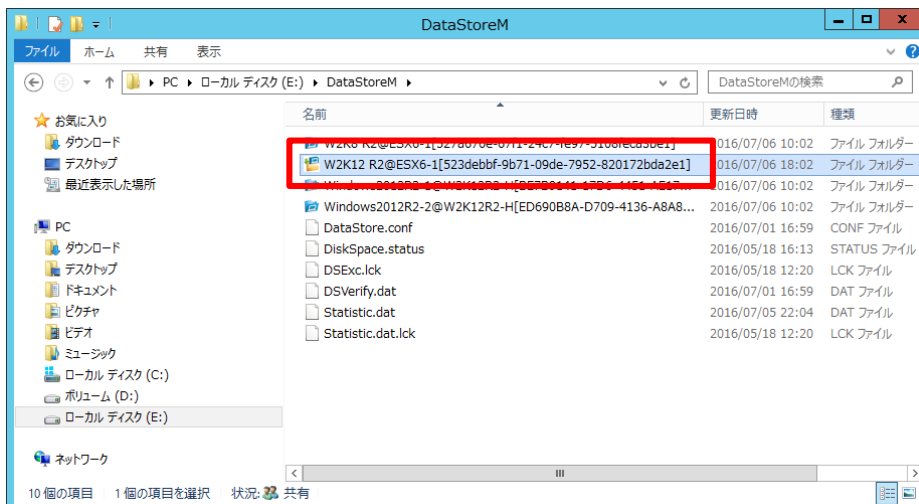
- 2) バックアップ データは VMware vSphere 環境の場合、[vSphere Client 上の VM 名]@[vCenter/ESXserver 名][UUID]、Hyper-V 環境の場合[Hyper-V 上の VM 名]@[VM 名][UUID] の形式で保存されているため、リストアしたいデータが含まれるマシンのフォルダ上を右クリックし、[Arcserve UDP 復旧ポイントビューへの変更]をクリックします。

※このメニューを表示させるには、Arcserve UDP Agent がインストールされている必要があります。

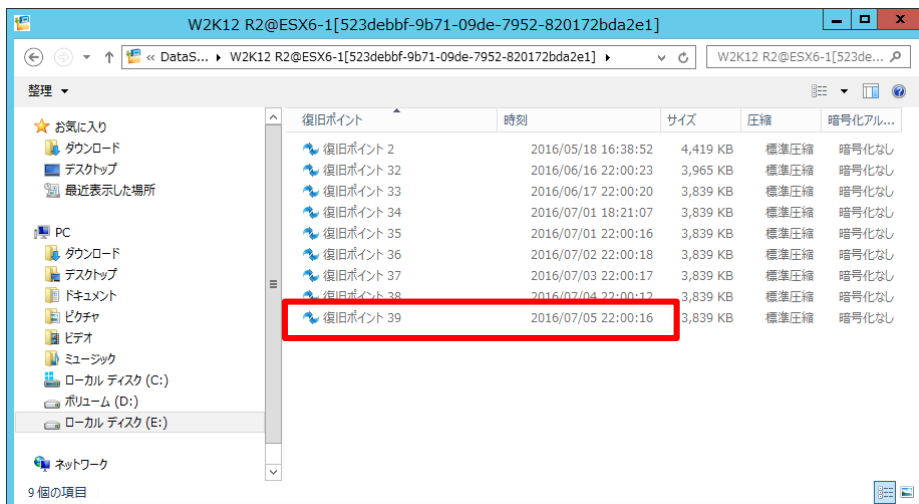
RPS サーバには、Arcserve UDP Agent がインストールされるため、このメニューが表示されます。



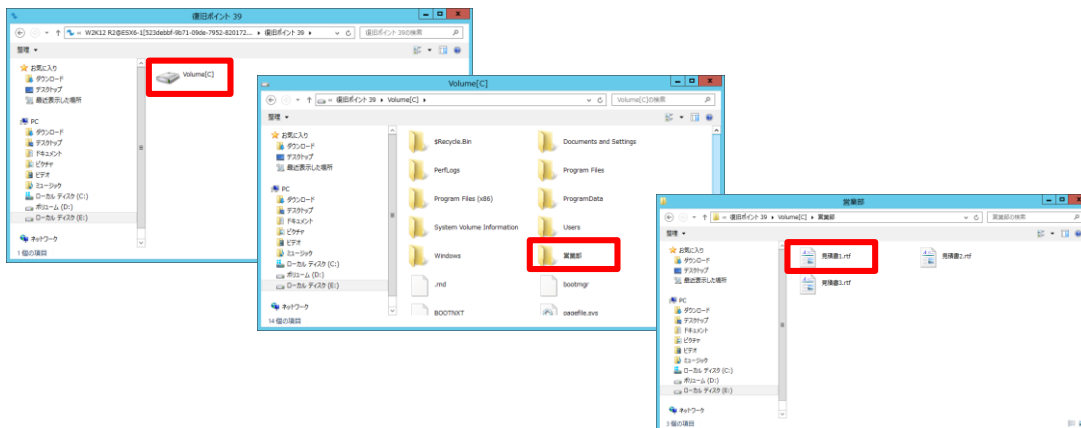
- 3) アイコンが変更されたことを確認し、ダブルクリックして展開します。



- 4) 保存済みの復旧ポイントが表示されるので、戻りたい時点の復旧ポイントを展開します。いつの時点に戻すかは、エクスプローラに表示される時刻で確認してください。



- 5) ドリルダウンし、目的のデータが置かれているパスに移動し、ファイル/フォルダをドラッグ&ドロップ、もしくはコピー&ペーストなどの方法でリストアしたいパスに貼り付けます。



以上で「エクスプローラからのリストア」は完了です。

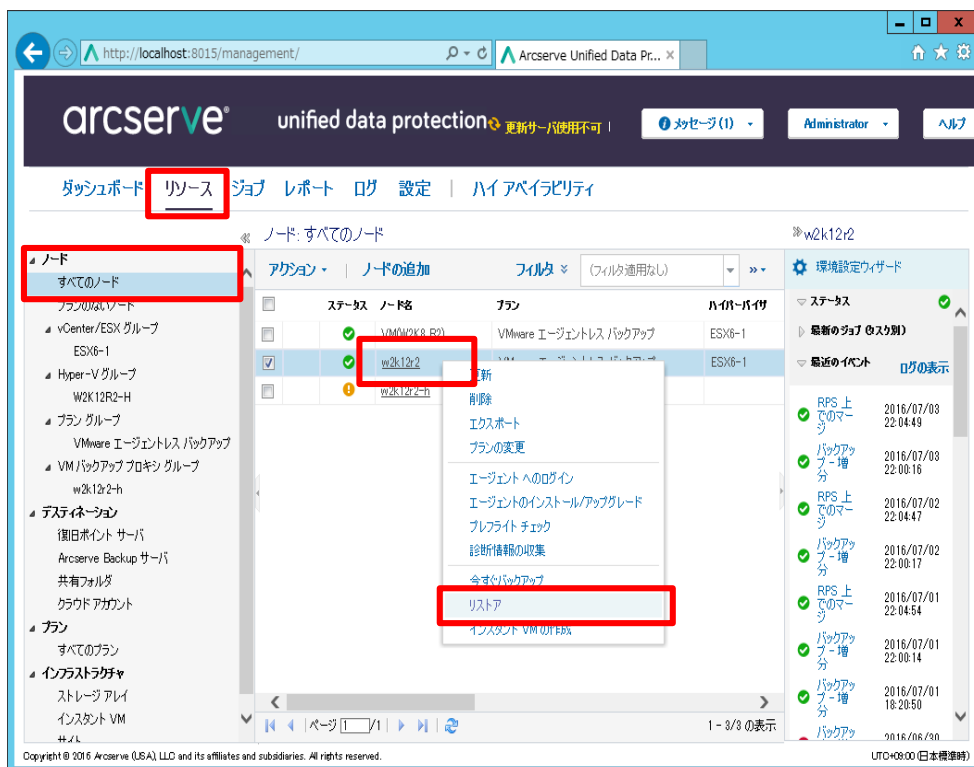
## 3.2. OS を含めたマシン全体の復旧

### 3.2.1. 仮想マシンへの復旧

OS を含めた仮想マシンを仮想環境に復旧する場合は、[VM の復旧]を利用します。ここでは VMware vSphere 環境の例で説明していますが、Hyper-V 環境でも同様の手順で復旧していただけます。

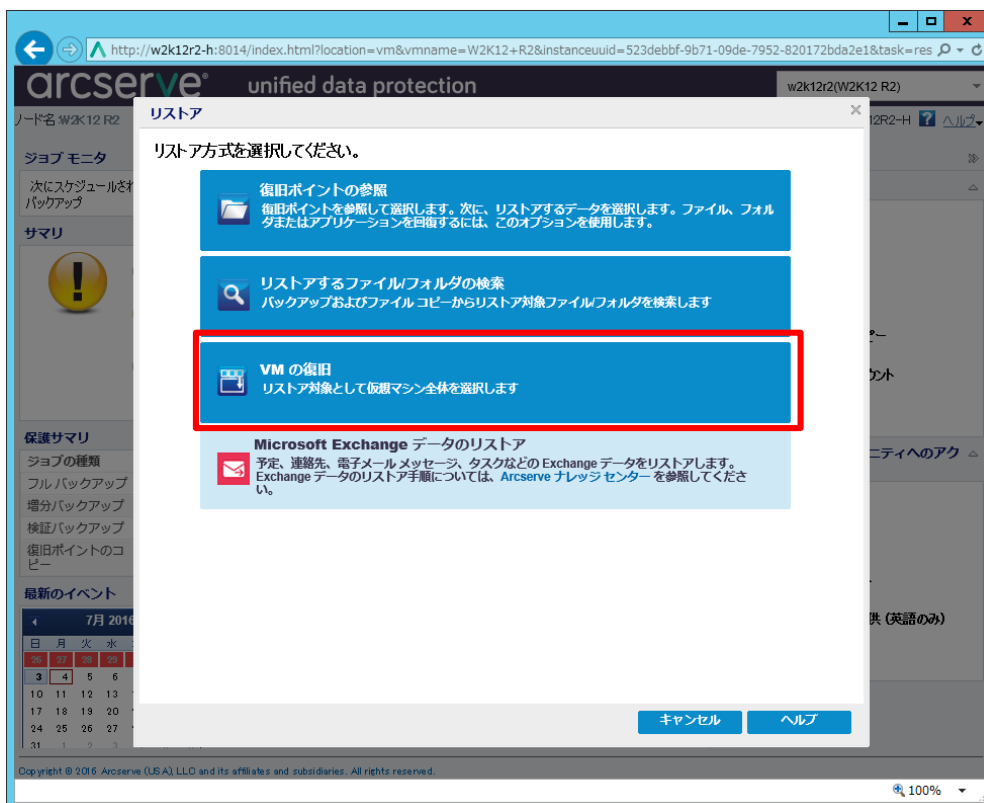
- 1) コンソールからリソースタブを開きます。

[すべてのノード]からリストアしたい対象のマシンを右クリックし、[リストア]を選択します。

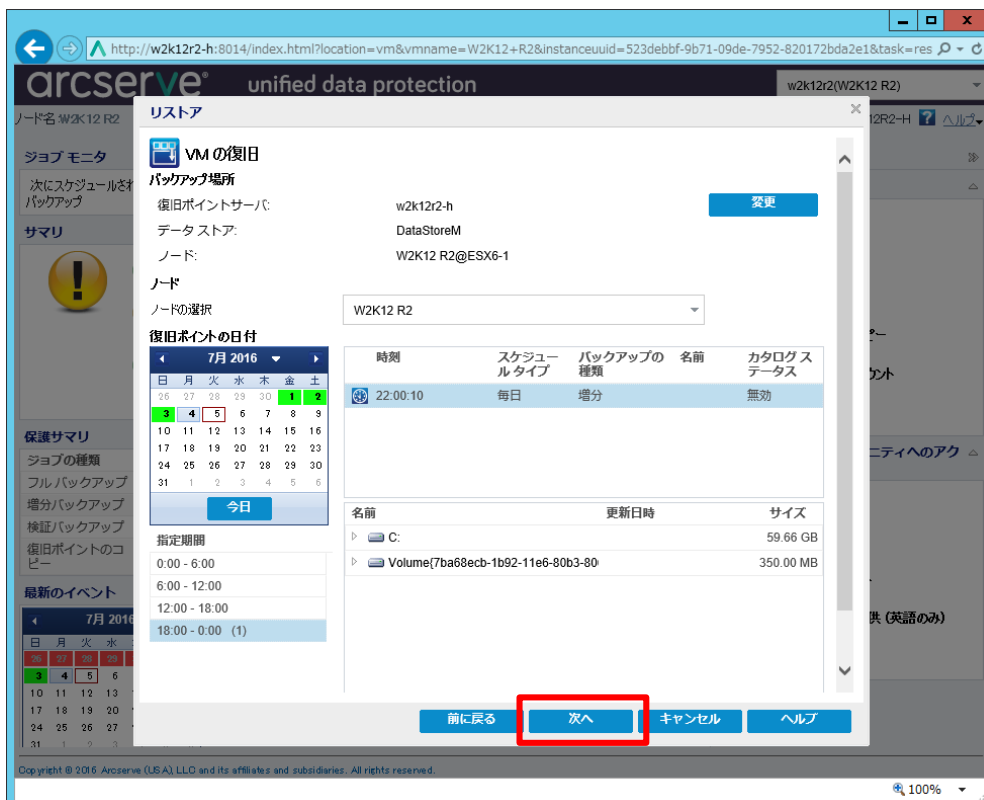




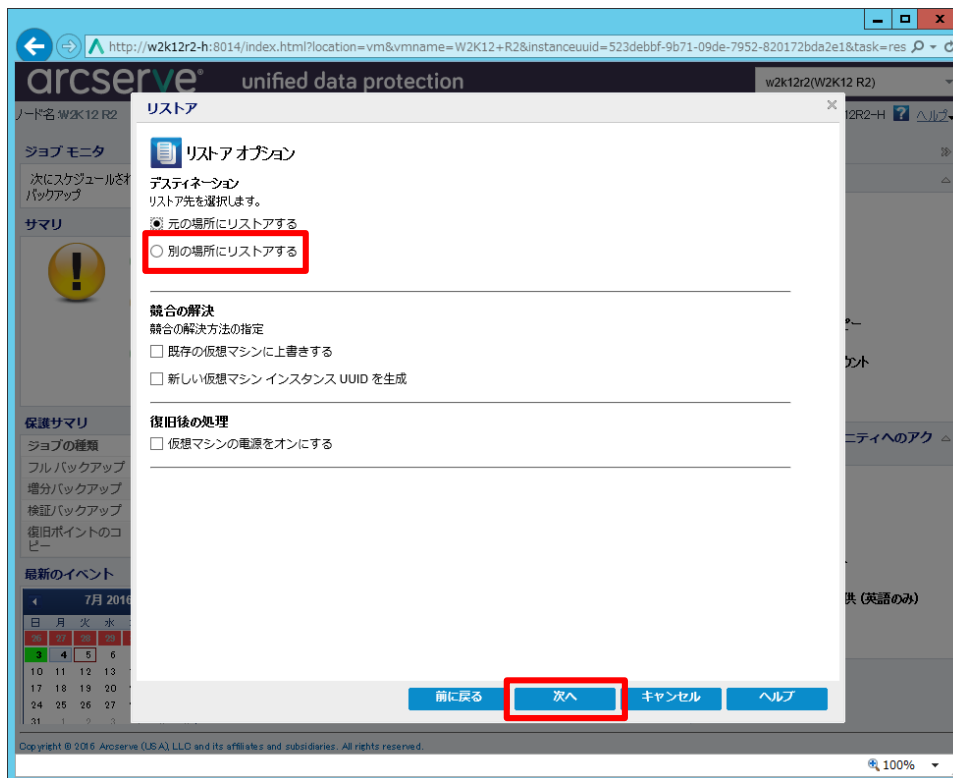
- 2) [リストア方式の選択]画面が表示されるため、[VM の復旧]をクリックします。



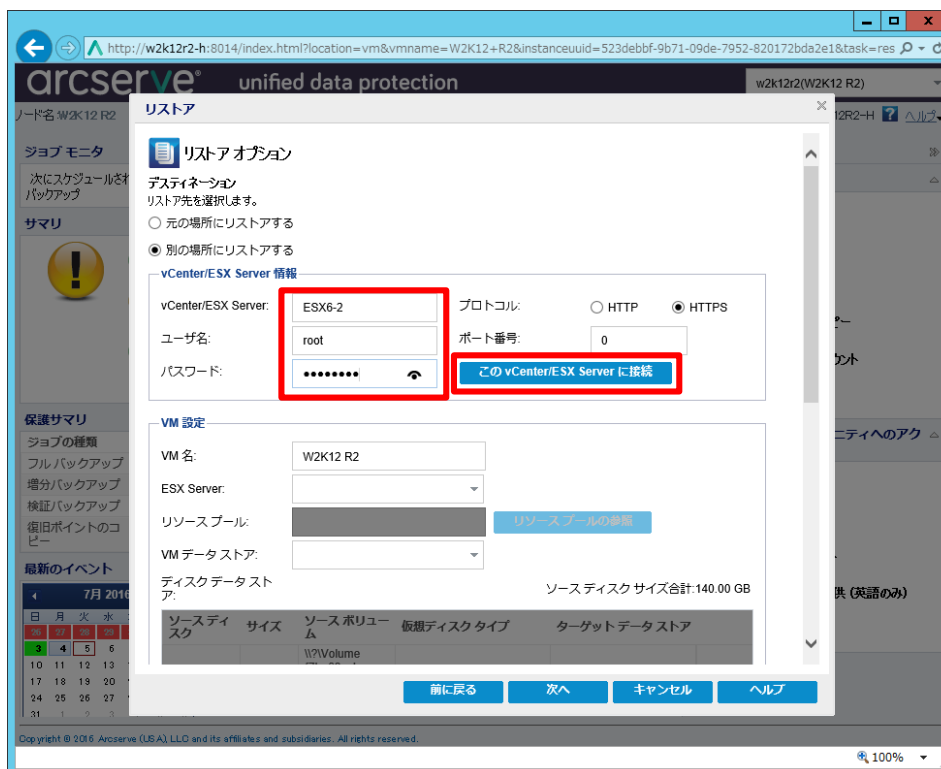
- 3) 復旧したい時点のバックアップ（復旧ポイント）を指定し、[次へ]をクリックします。



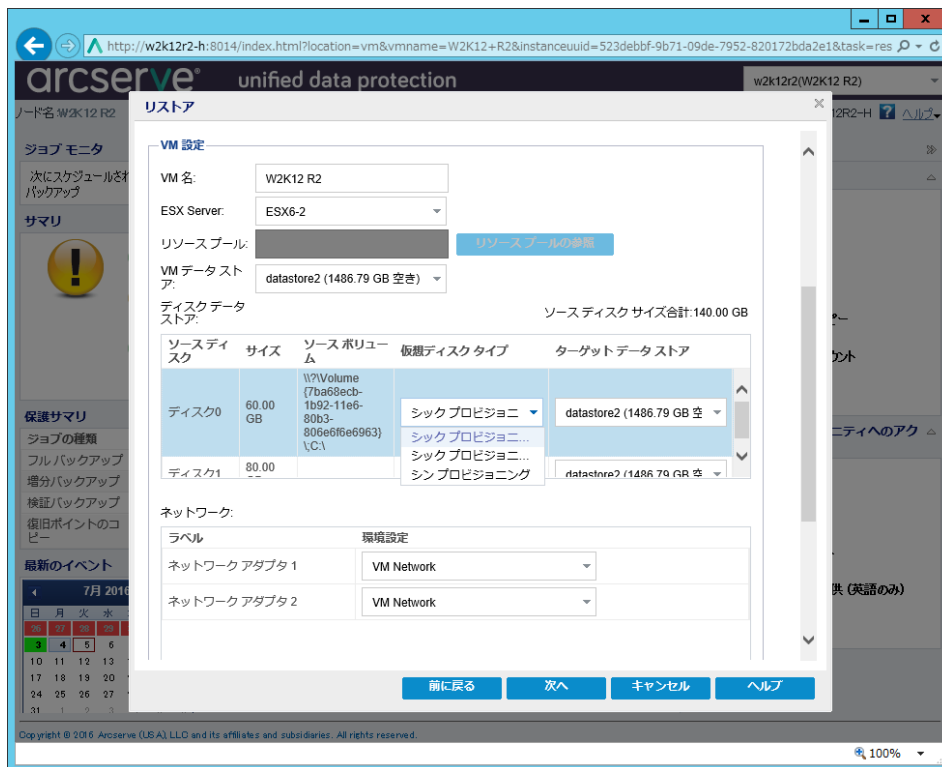
- 4) リストア先を指定します。元の場所へリストアするか、別の仮想マシンへリストアするかを選択できます。ここでは[別の場所にリストアする]を選択し、[次へ]をクリックします。



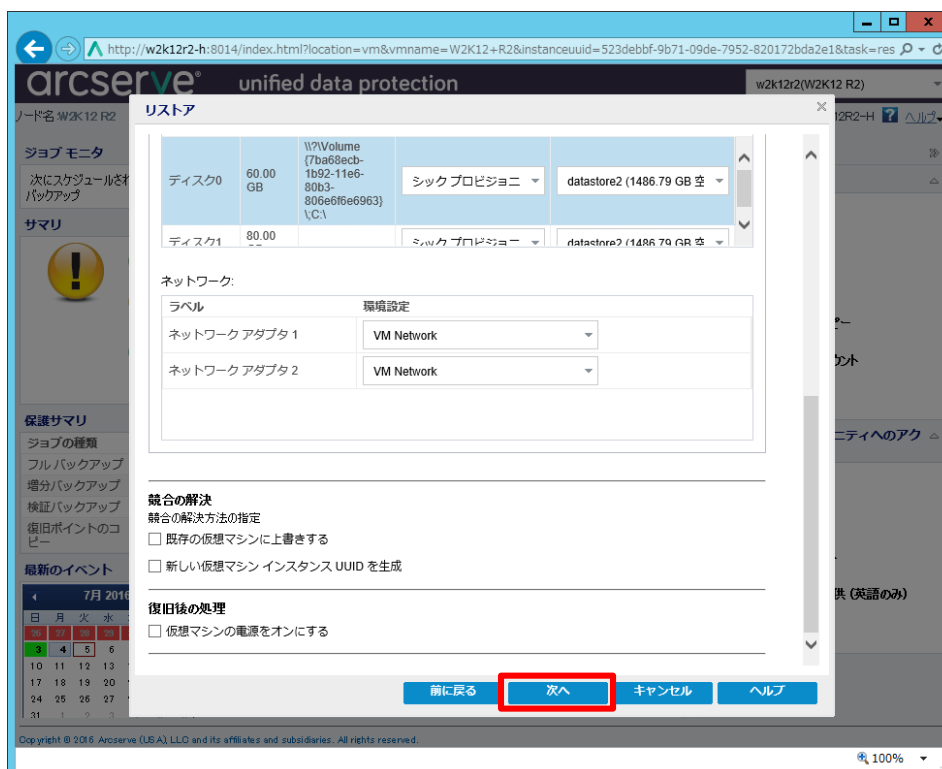
- 5) リストアする仮想ホストの情報を入力し、[この vCenter/ESX Server に接続]をクリックして認証情報に間違いがないことを確認します。



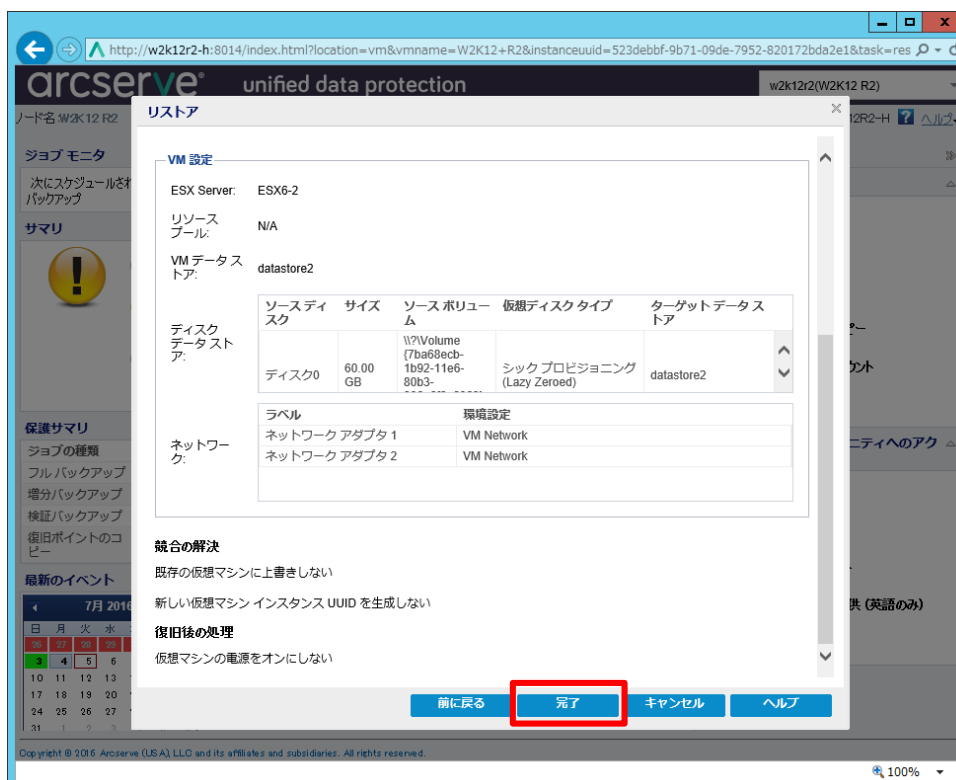
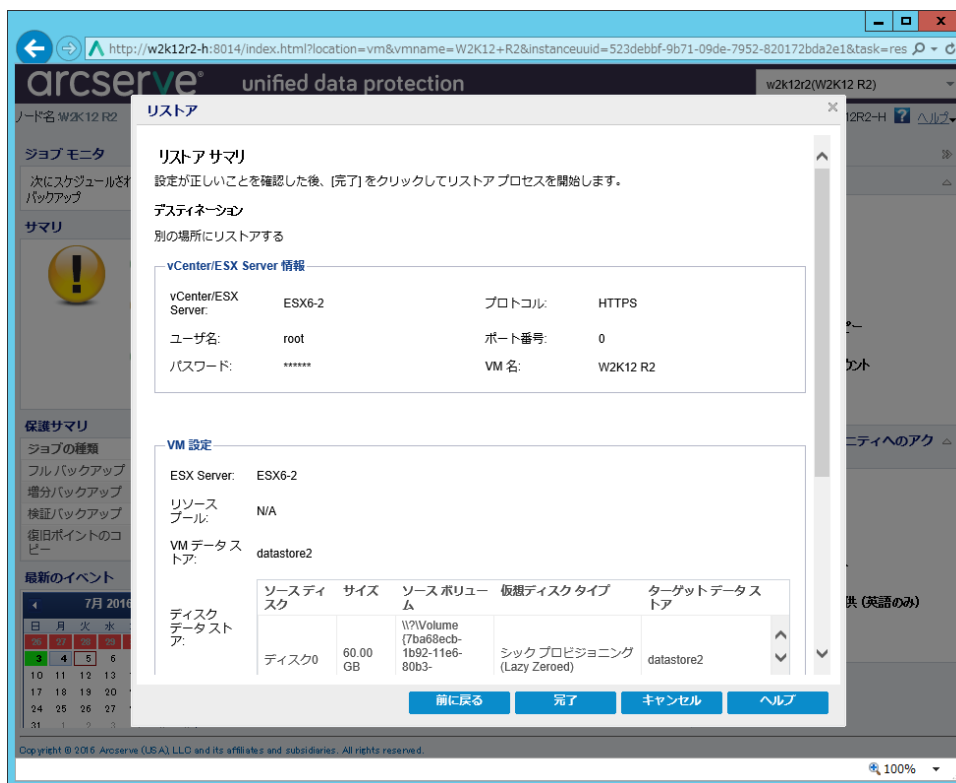
- 6) 仮想ホストの情報に接続後、VM 設定エリアの ESX Server、VM データストアが表示されます。必要に応じて VM 名や、データストア、仮想ディスクタイプ、ネットワーク設定を変更し、[次へ]を選択します。



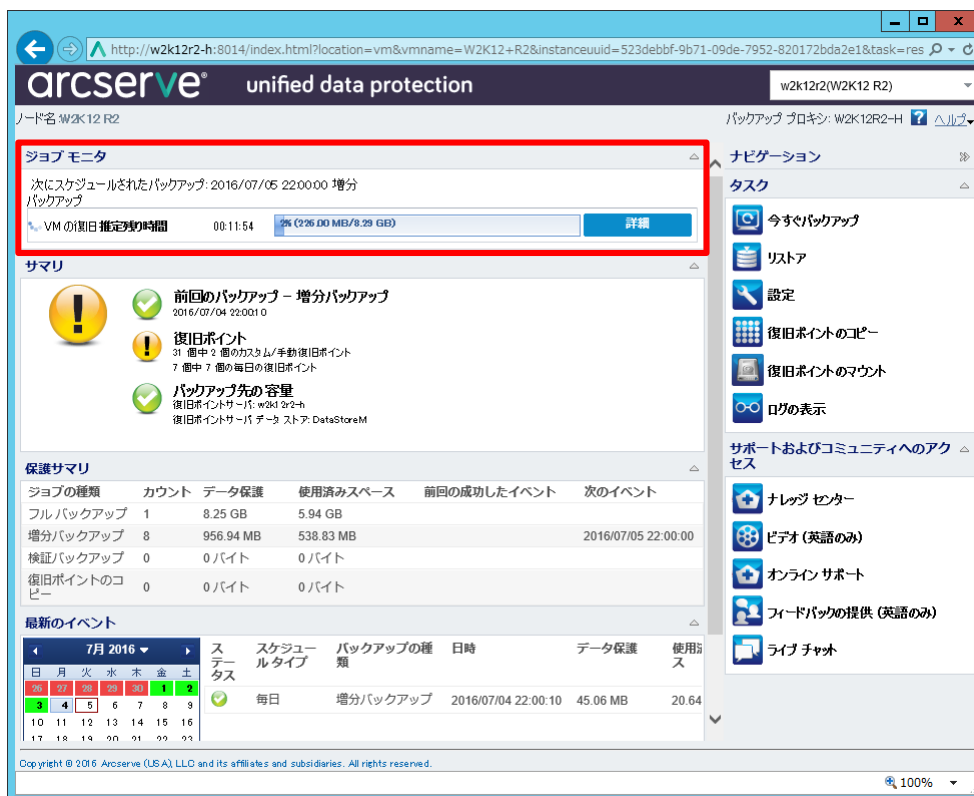
- 7) 必要に応じて競合情報の解決や、復旧後の仮想マシンの電源オンなどのチェックを入れ、[次へ]を選択します。



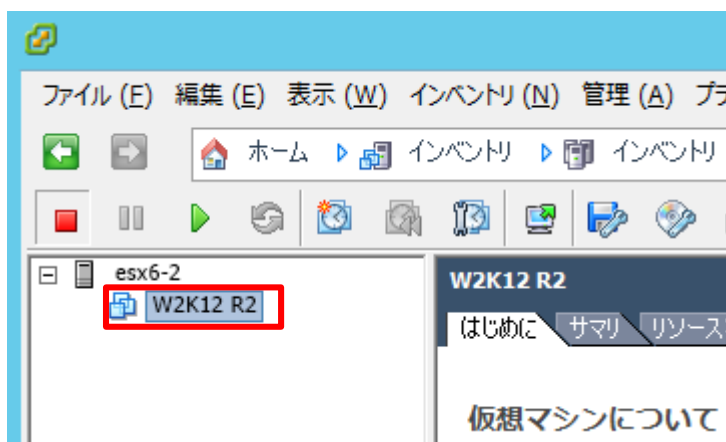
- 8) 仮想マシンの設定が正しいことを確認し、[完了]ボタンをクリックします。



- 9) 仮想マシンの復旧が開始され、ジョブモニタに進捗状況が表示されます。



- 10) 仮想マシンが復旧されたことを確認します。電源をオンにして動作を確認してください。



以上で、仮想マシンへの復旧は完了です。

### 3.2.2. 物理マシンへの復旧

○ エージェントレス バックアップした仮想マシンを OS から丸ごとリストアできます。仮想マシンのデータを、OS を含めてリカバリする（例えば物理マシンへ OS ごとリストアする）場合は、“ベアメタル復旧”を行います。  
※仮想マシンへの復旧でも同様の手順で復旧も可能です。

復旧メディアの作成方法は、カタログセンターにある以下の手順書の「4. ベアメタル復旧」を参考にしてください。

『Arcserve Unified Data Protection v6 Agent 環境構築ガイド(インストールからベアメタル復旧の手順)』

<http://www.arcserve.com/~media/Arcserve/files/Technical%20Documents/asudp-v6-agent-bmr-guide.pdf>

## 4. 製品情報と無償トレーニング情報

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

### 4.1. 製品情報

Arcserve シリーズ ポータルサイト

<http://www.arcserve.com/jp/>

動作要件

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/204760116>

注意/制限事項

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/articles/207679086>

技術情報

Arcserve UDP - 技術情報 (使用方法)

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/sections/200533155>

Arcserve UDP - 技術情報 (インフォメーション)

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/sections/200533205>

Arcserve UDP - 技術情報 (エラー)

<https://arcserve.zendesk.com/hc/ja/sections/200473529>

マニュアル選択メニュー

<http://documentation.arcserve.com/Arcserve-UDP/Available/V6/JPN/bookshelf.html>

### 4.2. トレーニング情報

#### 4.2.1. 無償トレーニング

半日で機能を速習する Arcserve シリーズの無償ハンズオン(実機)トレーニングを毎月実施しています。どなた様でも参加いただけますので、この機会にご活用ください。

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/seminar.aspx>